

SYLLABUS 2026

中 学 受 験 部

小5

CONTENTS

- 1 年間スケジュール
- 3 国語の学習
- 4 算数の学習
- 5 社会の学習
- 6 理科の学習
- 7 カリキュラムテスト実施要項
- 9 1週間の家庭学習時間の目安／
学習計画を立てるうえでの注意点
- 10 前期カリキュラム
- 19 後期カリキュラム
- 28 授業カレンダー



年間スケジュール

	授業	テスト	講座・イベントなど			
2026年 2月	前期		新学年開講			
3月		組分け テスト	開成・桜蔭 ジュニア オープン模試①	保護者会 中学入試 報告会		
4月			カリキュラムテスト 〔テスト＋解説授業（2月～7月・全8回・隔週で実施）〕	NNジュニア NNジュニア 開成・桜蔭 トップレベル講座		
5月		組分け テスト			保護者会	
6月	組分け テスト	全国統一 小学生テスト			夏フェス （有名中学校見学会・講演会）	
7月	組分け テスト	個別面談				
8月	夏期講習会 夏期合宿	組分け テスト	開成・桜蔭 ジュニア オープン模試②			
9月	後期		志望校 判定テスト①	保護者会		
10月		組分け テスト	カリキュラムテスト 〔テスト＋解説授業（9月～11月・全7回・隔週で実施）〕	NNジュニア NNジュニア 開成・桜蔭 トップレベル講座		
11月		組分け テスト			全国統一 小学生テスト	保護者会 秋フェス （有名中学校講演会）
12月		組分け テスト			学校別ジュニア オープン模試	個別面談
2027年 1月	組分け テスト	志望校 判定テスト②				

※変更が生じる場合がございます。

模試・テスト

● カリキュラムテスト（詳細はP.7へ）

『予習シリーズ』で学んだ内容について隔週土曜に「テスト」を行い、その後の「解説授業」により定着を図ります。

授業→宿題・家庭学習→テスト→解説授業→解き直し・復習のサイクルで学力を高めます。

● 組分けテスト（詳細はP.8へ）

四谷大塚が実施する、学習内容の定着を図るためのテストです。このテストの結果を参考に、通常授業のクラス分けを行います。

● 志望校判定テスト（9月・1月）

四谷大塚主催の、小学4年生・小学5年生に向けた合格判定テストです。受験学年へ向け、早い時期から志望校を意識することで、学習に対するモチベーションをアップさせ、学力伸長の原動力となります。

● 全国統一小学生テスト（6月・11月）

四谷大塚主催の日本最大級の無料公開学力測定テストです。単元の得意・不得意や、これからの学習の留意点を大きな母集団のなかで把握できます。都道府県別順位・男女別の順位・正答率など詳細なデータが確認できます。

● 学校別ジュニアオープン模試

出題内容だけでなく、問題・解答用紙まで各校の入試に合わせてつくられた完全学校別の“そっくり”模試です。小6への進級を前に、同じ志望校を目指すライバルたちのなかで現時点での力を確かめます。

選択講座

● NNジュニア/NNジュニア開成・桜蔭トップレベル講座

「NNジュニア」は有資格者を対象とした講座です。日曜日を利用して、各校舎からハイレベルな生徒が集まる環境で、難問に挑戦します。授業は小学6年生のNN志望校別コースの講師が担当します。「NNジュニア開成・桜蔭トップレベル講座」は、「開成中・桜蔭中ジュニアオープン模試」で受講資格を得た小5のトップ層を対象とした、最高レベルの競争空間を提供する講座です。

講習会・夏期合宿・正月特訓

● 講習会（春期・夏期・冬期）

春期は旧学年の復習と新学年の先取りを行い、自信を持って新学年を迎える準備をします。夏期は主に1学期の復習と2学期の先取り学習を行い、一番厳しいカリキュラムである小5の2学期に余裕を持って臨めるようにします。冬期は2学期の内容の定着を図るとともに、新学年に向けて土台を固めます。

● 夏期合宿

3泊4日の勉強合宿です。普段とは違う大自然の環境のもと、完全学力別のクラス編成で行われる本気の授業は、お子様の集中力を一気に高めます。全力で最後までやり抜いた経験は、大きな自信につながります。

● 正月特訓

「受験生になる」という自覚を手にするための3日間です。12/30・1/2・1/3に実施します。冬期講習会とは違ったカリキュラム・違ったライバルから受ける刺激は、お子様の意識を「受験生」へと変えていきます。

保護者会・イベント

● 保護者会・個別面談

定期的に実施する保護者会では、最新の入試情報や各科目の学習法について、担当講師よりお話をさせていただきます。個別面談では、保護者様と講師でお子様の情報を共有します。成績の向上、さらにはその先にある合格に向けて、お子様が学習効果を最大限に発揮できるようフォロー体制をつくり上げていきます。

● 夏フェス

「夏フェス」は毎年大好評をいただいている早稲田アカデミー主催の学校見学会・講演会です。「学校見学会」では、実際に学校へ足を運んで、各中学校の先生のお話や、実際の生徒たちの様子、学校の設備などを確認できます。ご自身の目や耳で実際に確認することで、学校の本当の姿が見えてきます。

● 秋フェス

複数の学校の先生方をお招きし、学校の魅力を直接お話しいただく「秋フェス」の講演会では、学校の特徴を深く知ることによって、お子様に合った学校を探すことができます。

● 中学入試報告会

「中学入試報告会」では、中学入試概況や次年度入試の展望についてお伝えいたします。

早稲田アカデミーの小6難関中学受験対策「NN（何があんでも）志望校別コース」で指導を行う経験豊富な講師が、科目別の問題分析や傾向について解説いたします。



国語の学習

自分なりの「読み方」「解き方」の確立

小5になると扱う文章の難度が一気に上がるため、感覚的・場当たりの読解をしているうちは得点につながりません。そこで、まずは「物語・小説」「説明文・論説文」「随筆文」「詩・短歌・俳句」という文種に応じた自分なりの「読み方」の確立を目指します。例えば、説明文・論説文ならば、はじめに「話題」を捉え、形式段落ごとの「要点」をつかみつつ読み進め、最後に筆者が言いたいことである「要旨」を読み取るという手順です。説明文・論説文ならばどんな作品においてもこうした読み方を貫き、同じように他の文種でもそれに応じた読み方を繰り返しながら、自分なりの「読み方」を確立していくのです。また、「解き方」においても、演習を重ねるなかで「指示語なら、こう処理する」「記述なら、このような手順で解答を組み立てる」といった、自分なりの設問別の対応方法を確立させていきます。

組分けテストに向けて

他の科目とは異なり、「通常回」の週と「組分けテスト」の週とで学習の仕方は変わりません。漢字と言語知識については新出のものが無い分、この1週間範囲内の覚え切れなかった部分を復習します。また、「文章読解」については『予習シリーズ』や『演習問題集』の問題を、時間や点数を決めてテスト形式で取り組んでみても良いでしょう。

教材の紹介

予習シリーズ

授業用

家庭学習用

文章読解(基本問題・発展問題)と言語知識(理解が中心の単元)のメインテキストです。いずれも各回のポイントをまとめた説明ページと、問題演習のページで構成されています。問題演習時は付属の解答用紙に解答します。また、解説時には重要な部分に線を引いたり、余白にメモを書き込んだりしながら理解を深めましょう。

漢字とことば

家庭学習用

漢字と言語知識のサブテキストです。各回10字の新出漢字と、『予習シリーズ』とは異なる言語知識(語彙を広げる単元)で構成されています。テキストや付属の解答用紙に直接書き込みながら取り組み、各週で身につけるべき内容を地道に定着させていきましょう。

演習問題集

授業用

SB・SAクラスで使用する文章読解のサブテキストです。付属の解答用紙に演習してください。

練成問題集

家庭学習用

SB・SAクラスで使用する、文章読解と言語知識学習の補助教材です。各回は例題・基本問題・練習問題・言語知識問題で構成されています。『予習シリーズ』よりも取り組みやすい問題が並んでいますので、毎回の学習内容をしっかりと定着させるのに最適です。

最難関問題集

授業用

SSクラスで使用する文章読解のサブテキストです。開成・桜蔭をはじめとする最難関校の入試問題に対応するための記述力を鍛える教材です。付属の解答用紙に演習しましょう。

宿題の進め方

ご家庭では「漢字」「言語知識」「文章読解」にバランスよく取り組んでいただきます。「漢字」「言語知識」は次の授業で確認テストを実施して、定着度を測ります。また、「文章読解」は授業で身につけた読み方・解き方を意識して取り組むことが大切です。

内容	クラス	取り組み方法	1週間の目安時間
『漢字とことば』 漢字	共通	各漢字の説明部分にある「音読み・訓読み」「筆順」「部首」「用例」などを確認し、正しい筆順を意識しながら各ページにある「なぞり書き」をしてみましょう。	20分 程度
		確認問題に取り組みましょう。答えは直接書き込み、解答を見て答え合わせまでしましょう。	20分 程度
『漢字とことば』 言語知識	共通	言語知識ページに取り組みます。答えは付属の解答用紙に記入し、解答を見て答え合わせをしましょう。	20分 程度
『予習シリーズ』 基本問題	SS	演習・答え合わせ・解き直しまで行いましょう。『予習シリーズ』は専用の解答用紙に、『練成問題集』は直接解答してください。記述の評価に迷う場合は、担当講師にお任せいただいても構いません。	60分 程度
『練成問題集』 文章読解・言語知識	SB SA		
			合計 120分 程度



算数の学習

解法技術の習得と実践

中学入試で出題される問題を攻略するには、身につけた知識や概念を駆使し、問題の条件から最適な手段を選び、自分なりに筋道を立てて解く力が要求されます。小4では、計算手法、文章題を解くための解法ツール、図形の求積方法を学習してきました。小5では、それらの知識の定着を図るとともに、身につけた知識や概念を利用して、問題演習に数多く取り組み、解法技術の習得を目指します。各分野の解法技術を身につけ、発展的な問題にも対応できる力を養成します。

第一手の打ち方を理解し、自ら最適な手段を考える

小4では、円や二等辺三角形など、それらの図形を見たときの第一手の打ち方を指導してまいりました。小5では、平面図形と比が融合した問題など、新たな図形の問題に取り組みます。例えば、平面図形と比の問題では、「補助線」を引く問題がよく見られます。やみくもに線を引いてみるお子様も見られますが、それでは問題は解けません。補助線は、相似な図形をつくり出したり、面積を比較したりするために引くものです。意味を理解したうえで効果的な手を打つことができるようになること、さらには、ほかに最適な手がないかどうかまで考えられるようになることが目標です。

組分けテストに向けて

お子様の学習段階に合わせて到達目標を設定することが大切です。まずは一つ上のコースを目指すことを目標にしましょう。Bコースを目指すのであれば、『予習シリーズ』基本問題の左側のページを繰り返し演習しましょう。組分けテストの②で得点できるようになることがクラスアップの鍵です。加えて、各例題の理解、基本問題の右ページの大問形式の演習、とステップアップしていきましょう。Cコースであれば、練習問題の左側のページにも取り組んでおく必要があります。Sコースであれば、練習問題の右側のページにも取り組み、『演習問題集』の実戦演習も確認しておきましょう。

教材の紹介

予習シリーズ

授業用

新出単元の導入に使用するメイン教材です。各回のポイントをまとめた例題と、演習用の基本問題・練習問題で構成されています。SSクラスは練習問題まで、SBクラスは基本問題に加えて練習問題の一部まで、SAクラスは基本問題まで定着させることが目標です。直接書き込みはせず、『予習シリーズ』用のノートを用意して演習しましょう。また、授業の板書は、ポイントや公式のみを写しましょう。板書を写すことよりも、教わった通りの方法で実践することで定着度は高まります。

シリーズ計算

家庭学習用

算数の基礎となる計算の練習を行うための家庭学習用教材です。直接テキストに書き込んで演習することを標準としますが、式や筆算を書くスペースを広くとりたい場合は、ノートに演習しても構いません。

演習問題集

家庭学習用

『予習シリーズ』の類題に加えて、『予習シリーズ』とは異なる切り口からの問題も載っています。基本問題・練習問題のレベル別の構成になっており、クラスに応じて演習する領域は異なります。『演習問題集』用ノートに式や図をかくて演習しましょう。

最難関問題集

授業用

SSクラス用の教材です。その週に学習する最高レベルの問題が載っている問題集です。『予習シリーズ』で新出単元の説明や演習を行った後に使用します。難問に対して、筋道を立てて解く力を鍛えます。

宿題の進め方

早稲田アカデミーでは、『予習シリーズ』をメイン教材として使用し、新出単元の導入と重要な問題の演習を行います。宿題の位置付けはその復習です。宿題では主に『演習問題集』を使用し、授業内で扱った問題の数値替えや類題に取り組みます。授業で習った通りの方法を自ら実践することができるかを確認しましょう。わからない問題は付せんを貼るなど、次回の授業時に質問できるようにしておくといいでしょう。また、そのほかに『シリーズ計算』で算数の基礎となる計算力の強化を図りましょう。

内容	クラス	取り組み方法	1週間の目安時間	
復習	共通	計算テスト・確認テストの間違い直しと、授業内で間違えた問題の解き直しを復習用ノートに実施します。	30分 ×2日	合計 240分 程度
	SS	反復問題(練習)と実戦演習から宿題を出します。	110分	
『演習問題集』	SB	反復問題(基本)の右ページと反復問題(練習)の左ページ、トレーニングの右ページと実戦演習の左ページから宿題を出します。	110分	
	SA	反復問題(基本)とトレーニングから宿題を出します。	110分	
『シリーズ計算』	共通	できるかぎり1日1ページずつ取り組みましょう。直接書き込んで演習しましょう。	10分 ×7日	



社会の学習

入試に直結する重要な知識事項の拡充

小4までの学習では、地理の学習における基本的な概念の習得や、知識事項を身につけていくうえでの基盤の役割も果たす都道府県について、時間をかけてじっくりと取り組んできました。小4の学習を基礎として、中学入試を突破するために必要な多くの事柄や重要な考え方を学び、知識のストックを一気に拡大していくのが小5の学習です。小5の学習カリキュラムでは、前半で地理、後半で歴史の学習を終えることになります。地理と歴史をあわせると中学入試での出題比率のおよそ7割～8割に達することを考えれば、小5の学習がいかに重要であるかわかります。特に小5以降の学習では学習内容の難度も上昇し、それらを理解して知識として身につけていくには大きな労力が必要です。その場しのぎで重要なテストの前に詰め込むように単語を暗記したとしても、長い目で見て記憶として定着しにくいいため、入試に向けた効果的な学習とはいえません。マラソンに例えるならば、一定のペースで走り続けるように少しずつ着実に知識を増やしていく方が良いのです。知識を増やしていく過程で重要な概念についても理解し、思考力を磨いていくことでより効率よく知識を身につけられるようになる……。そのような好循環をつくり、入試に向けた礎を築いていきます。

組分けテストに向けて

組分けテストに向けては、『予習シリーズ』の要点チェック、『演習問題集』の「まとめてみよう!」で出題されている重要語句を正しく答えられるようにすることが大切です。さらに『練成問題集』や『演習問題集』のなかで解いていない問題や総合回の問題にも挑戦しましょう。正解できなかった問題については『予習シリーズ』の本文を見直して本番に備えましょう。

教材の紹介

予習シリーズ

授業用

家庭学習用

新出単元の導入・解説に使用する教材です。通常回についてはQ & A、本文、学習を深めるページ「ちょっとくわしく」、要点チェック、練習問題から構成されています。

考える社会科地図

授業用

家庭学習用

地理の学習の際に必携の地図帳ですが、歴史に関するページもあり、歴史の学習にも活用できます。また、出来事が起こった場所を確認することで歴史分野の学習中も地理的な概念を養うことができます。

演習問題集

家庭学習用

重要語句を記入しながら、各単元のポイントを押さえる「まとめてみよう!」とカリキュラムテストの問題を想定した練習問題、より実践的な内容の発展問題から構成されています。カリキュラムテストに備えた各回の学習内容の定着と演習量確保のための家庭学習用教材です。

歴史の資料

授業用

家庭学習用

『予習シリーズ』には登場しない資料(史料)や写真が収録されている資料集です。地理の学習で地図帳を用いたように、歴史の学習ではこの資料集を用いながら知識を深めていきます。なお、こちらの教材は後期から使用します。

練成問題集

家庭学習用

家庭学習用の演習教材です。基本から応用まで数段階の問題で構成されています。この中からクラスごとに課題を選んで宿題とします。

宿題の進め方

おもな宿題は重要語句のまとめと問題演習です。一つの宿題が終わったらすぐに丸付けをして、正解できなかった内容を振り返ってから次の宿題に取り組みます。そうすることで、各週で身につけるべき知識や重要な概念が定着しているかどうかチェックしながら進めていくことができます。

内容	クラス	取り組み方法	1週間の目安時間	
『演習問題集』	SS	付属の解答用紙を切り離して、「まとめてみよう!」発展問題に取り組みましょう。	80分 程度	合計 120分 程度
	SB SA	付属の解答用紙を切り離して、「まとめてみよう!」練習問題に取り組みましょう。		
『練成問題集』	SS	基本問題・練習問題に取り組みましょう。	40分 程度	
	SB SA	トレーニング・基本問題に取り組みましょう。		



理科の学習

知識の土台と計算解法の確立

小5では、入試で出題される典型問題の多くを扱います。前半では小4で学習した内容を基盤とした知識や基本原理・原則を、後半は新たな知識のほか、法則を利用していくタイプの問題を中心に学習します。中学入試に必要な知識は広範囲におよぶため、数多くの知識を効率よく覚えることが必要になります。そのために大切なのは、「既習の知識との関連性を考える」ということです。それぞれの単元で学習した内容は、実験・観察の手順において共通する事柄が多くあります。新しい知識を身につけるとともに、既習内容との関連性を考えることで、しっかりと定着し、より実戦的な知識へと変わっていきます。化学・物理分野の計算問題に関しては、まずは、原理・原則をしっかりと理解することが重要です。実験結果から得られた数値を「表やグラフを用いたデータ」から読み取り、原理・原則をもとに正確に計算を進めていきましょう。計算問題においては解法を確立することが大きなポイントです。特に力学の計算においては、はじめに何をすべきかという型が重要になります。その都度やり方を考えるのではなく、「てこの計算ではまず何をすべきか」「ばねの計算のポイントはどこか」という基本となる型を習得することで、時間短縮が図れてミスも減り、得点が安定していくでしょう。小5の学習では知識分野と計算分野をバランスよく学習していくことが重要です。基本的な知識を中心に定着を図り、データを利用した問題に慣れていくことで、小6での大きな飛躍につなげていくことができるでしょう。

組分けテストに向けて

組分けテスト対策としてまず取り組まなくてはならないことは、各単元の用語の確認です。『予習シリーズ』や、『練成問題集』のトレーニングを利用するのが良いでしょう。基本的な知識が身につけていない状態で問題演習を繰り返しても得点につながりません。問題演習を行うのは知識が定着した後にいきましょう。また、カリキュラムテストや確認テストなどで間違えたところのチェックも忘れないようにしましょう。

教材の紹介

予習シリーズ

授業用

家庭学習用

授業で新出単元の導入・解説を行う際に使用する教材です。文章を読んで内容を確認するだけでなく、説明用の図や写真を確認し、新出の知識に対する理解を深めていきます。通常回は説明部分、今回のポイント、要点チェック、総合回は要点チェック、練習問題で構成されています。

演習問題集

家庭学習用

各回の学習内容を確認する「まとめてみよう!」と、問題演習形式で基礎を確認する基本問題、カリキュラムテスト・組分けテストを想定した練習問題と入試を意識した発展問題から構成されています。発展問題は難しい問題も含みます。各回の学習内容の定着と演習量を確保するための家庭学習用教材です。

練成問題集

家庭学習用

家庭学習用の演習教材です。基本知識を確認するトレーニング、標準的な内容の基本問題、より実戦的な内容の練習問題で構成されています。クラスごとに、宿題の範囲を指定します。

宿題の進め方

授業後すぐに演習に取り組むのではなく、まずは『予習シリーズ』の説明部分を一読し、授業で学習した内容を復習してから演習に取り組んでください。問題に取り組むときは、時間を決めて演習し、丸付けと直しを行ってから次の問題に進むと効果的です。

内容	クラス	取り組み方法	1週間の目安時間	
『予習シリーズ』 (要点チェック)	共通	『予習シリーズ』の説明部分(今回のまとめ)を確認しながら要点チェックに取り組んでください。	20分 程度	合計 120分 程度
『練成問題集』	SS	基本問題と練習問題に取り組みましょう。	40分 程度	
	SB SA	トレーニングと基本問題に取り組みましょう。		
『演習問題集』	SS	練習問題に取り組みましょう。発展問題は担当より指示を出します。	60分 程度	
	SB SA	基本問題と練習問題(抜粋)に取り組みましょう。		

カリキュラムテスト実施要項

「カリキュラムテスト」は、小5の必修テストです。

- **出題範囲** 2週間分の学習内容
- **受験会場** 通常授業と同一校舎
- **持ち物** えんぴつ（Bまたは2B）／消しゴム
3色ボールペン（赤・青えんぴつ可）
定規／二次元コードシール

- **タイムテーブル（右図）**

やむを得ない事情で受験ができない場合は振替受験が可能です。
前週土曜日14:30までにお通りの校舎へご連絡ください。

開始	終了	内容
16:30	16:35	受験登録
16:35	16:55	理科／社会 テスト①
16:55	17:15	理科／社会 テスト②
17:15	17:20	休憩
17:20	17:50	算数／国語 テスト①
17:50	18:20	算数／国語 テスト②
18:20	18:25	休憩・移動
18:25	18:45	解説授業①
18:45	19:05	解説授業②
19:05	19:10	解答解説配布

- **問題の種別と試験時間・配点**

通常授業のクラス	コース名	国語 30分(100点)	算数 30分(100点)	社会 20分(50点)	理科 20分(50点)
SSクラス	Sコース	C・S問題	S問題	C・S問題	C・S問題
	Cコース		C問題		
SBクラス	Bコース	B問題	B問題	B問題	B問題
SAクラス	Aコース	A問題	A問題	A問題	A問題

- **カリキュラムテストに向けた勉強の仕方**

国語

目標点 Sコース 70点／Cコース 60点
Bコース 70点／Aコース 70点

漢字は、全コースとも『漢字とことば』の該当範囲の「確認問題」が全問正解できるレベルまで仕上げましょう。言語知識は、A・Bコースでは『予習シリーズ』『漢字とことば』の問題部分が7割程度は正解できるように、C・Sコースではそれに加えて説明部分に出てくるものも7割方定着している状態を目指しましょう。文章読解は、『予習シリーズ』基本問題でAコースは6割、Bコースは7割、発展問題でCコースは6割、Sコースは7割を目標に正解できるようにしていきましょう。

算数

目標点 Sコース 65点／Cコース 65点
Bコース 70点／Aコース 70点

Aコースでは『予習シリーズ』基本問題の①を徹底的に演習しておきましょう。例題よりも取り組みやすい問題があるので、基礎内容の確認を行うことができます。Bコースでは『予習シリーズ』例題・基本問題の右側のページにも取り組みましょう。C・Sコースでは基本問題に加えて練習問題にも取り組む必要があります。Cコースでは7割、Sコースでは8割程度正解できるようにしておくといでしょう。また、Sコースでは『演習問題集』の実戦演習にも取り組んでおくと効果的です。

社会

目標点 Sコース 40点／Cコース 40点
Bコース 40点／Aコース 36点

授業で出された宿題にしっかりと取り組んでおきましょう。どのコースの問題も『予習シリーズ』の学習内容から重要度の高い知識事項が出題されますから、テストの前には『予習シリーズ』をよく読んでおくようにしましょう。それに加えて、『予習シリーズ』の要点チェックや『演習問題集』の「まとめてみよう」、『練成問題集』のトレーニングなどをうまく使って、知識の定着を確認するとよいでしょう。

理科

目標点 Sコース 35点／Cコース 35点
Bコース 40点／Aコース 35点

全コースともに、宿題を丁寧に、確実に定着させることが一番の対策です。間違えてしまった問題を正確に答えることができるようにすることを目指して学習に取り組みましょう。なお、『予習シリーズ』の「今回のポイント」は、該当回の優先度が高い内容をまとめたものです。家庭学習で演習を始める前やカリキュラムテストの前に確認しておきましょう。特に、Aコースでは「今回のポイント」や「要点チェック」をしっかりと定着できているかを試される内容が多数出題されます。意識して対策していきましょう。

● カリキュラムテストの復習の仕方

国語

大問一の漢字、大問二の言語知識は、間違えたものをすぐに正しく覚え直しましょう。大問三の文章読解は、解説授業をしっかりと聞いて、間違えた問題の正しい解答の導き方を理解しましょう。

社会

「漢字」の失点は、組分けテストまでに漢字で書けるよう練習をしておきましょう。選択肢がある問題は、解答以外の選択肢もふくめて『予習シリーズ』と照らし合わせながら復習するようにしましょう。頭の中で知識事項が整理できない場合は、ノートなどにまとめて整理しておくといでしょう。

算数

主に最後の大問はテスト後の解説授業で担当講師が説明しますので、しっかりと聞いておきましょう。細かな計算ミスは見直し程度にとどめ、解き方が思い浮かばなかったり、方針が立てられなかったりした問題を中心に、解説授業後に解き直しをしましょう。

理科

間違えてしまった問題が知識事項であれば、『予習シリーズ』の説明部分を確認すると、関連事項と一緒に復習できるので効果的です。また、間違えてしまった問題が計算問題であれば、間違えた原因を把握することが重要です。計算方法が間違っていたのであれば、その方法を確認後、自力で正解に辿り着くまで練習すると実力の向上につながります。難度が高いと感じたときは、『演習問題集』や、宿題の中から似た問題を見つけて演習してから再チャレンジしてみましょう。

● カリキュラムテスト・公開組分けテスト出題範囲表（必修）

※下記日程は変更になる可能性があります。

実施日	テスト名	出題範囲
2/21(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ5年上 第1回
		予習シリーズ5年上 第2回
3/7(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ5年上 第3回
		予習シリーズ5年上 第4回
3/15(日)	公開組分けテスト	予習シリーズ5年上 第5回
4/11(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ5年上 第6回
		予習シリーズ5年上 第7回
4/25(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ5年上 第8回
		予習シリーズ5年上 第9回
5/10(日)	公開組分けテスト	予習シリーズ5年上 第10回*
5/23(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ5年上 第11回
		予習シリーズ5年上 第12回
6/6(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ5年上 第13回
		予習シリーズ5年上 第14回
6/14(日)	公開組分けテスト	予習シリーズ5年上 第15回*
6/27(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ5年上 第16回
		予習シリーズ5年上 第17回
7/11(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ5年上 第18回
		予習シリーズ5年上 第19回
7/19(日)	公開組分けテスト	予習シリーズ5年上 第20回*

実施日	テスト名	出題範囲
8/30(日)	公開組分けテスト	既習範囲全て
9/12(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ5年下 第1回
		予習シリーズ5年下 第2回
9/26(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ5年下 第3回
		予習シリーズ5年下 第4回
10/4(日)	公開組分けテスト	予習シリーズ5年下 第5回
10/17(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ5年下 第6回
		予習シリーズ5年下 第7回
10/31(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ5年下 第8回
		予習シリーズ5年下 第9回
11/8(日)	公開組分けテスト	予習シリーズ5年下 第10回
11/21(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ5年下 第11回
		予習シリーズ5年下 第12回
12/5(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ5年下 第13回
		予習シリーズ5年下 第14回
12/13(日)	公開組分けテスト	予習シリーズ5年下 第15回
1/16(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ5年下 第16回
		予習シリーズ5年下 第17回
		予習シリーズ5年下 第18回
1/24(日)	公開組分けテスト	予習シリーズ5年下 第19回

カリキュラムテストでは、原則2週分の学習内容の定着度を確認します。

*4月以降の公開組分けテストは、前の総合回の学習内容がおよそ3割出題されます。

1週間の家庭学習時間の目安

早稲田アカデミーでは、小5の家庭学習時間（宿題にかかる時間）の目安を、国語2時間、算数4時間、社会2時間、理科2時間、合計10時間程度として指導しています。もちろんお子様の問題を解くスピードや、得意不得意によっての差がありますので、お子様の状況や在籍しているクラスに応じて、担当講師が宿題量を調整していきます。また、早稲田アカデミーでは、隔週土曜日に「カリキュラムテスト」を実施します。カリキュラムテスト後に、その復習をきちんと行うことが5週に1回実施される「組分けテスト」の成績向上につながっていきます。カリキュラムテスト後は苦手科目や不得意単元を中心に、その復習を1時間程度行うことをおすすめします。

国語	2時間
算数	4時間
社会	2時間
理科	2時間
合計	10時間

学習計画を立てるうえでの注意点

学習時間を確保するためには、まず決まっている予定（学校・睡眠時間・習い事・テレビ・食事・風呂など）を明確にします。テレビやゲームに関しては、あらかじめお子様と相談して時間を決めておくといいでしょう。朝に勉強ができるお子様であれば、学校に行く前に計算や漢字などで15分くらいの学習時間を確保するのも工夫の一つです。短い時間を有効活用する場合には、得意科目や短時間で終わる問題演習などにしていくとよいでしょう。難しい内容や苦手科目は十分な時間が確保でき、かつ集中力の高い状態で学習できる時間に取り組むとよいでしょう。必要な睡眠時間もお子様によって異なります。長すぎても、短すぎても体調を崩したり、集中力を欠いたりする要因となってしまうことがあります。7時間～9時間を目安に、お子様に合った無理のない時間を決めてあげましょう。土曜日・日曜日に関しては、カリキュラムテストや組分けテストがあるほか、学校行事やご家族でのイベントなど不定期な予定が入る場合があると思います。家庭学習時間の確保が難しく、宿題がやり切れないことがあらかじめわかっている場合には、担当講師にご相談ください。やるべき課題に優先順位をつけて、宿題量の調整をさせていただきます。宿題の進め方ややり方などにご不明な点やお困りの点がございましたら、まずは担当講師までご相談ください。



前期カリキュラム

2月～7月(全20回)

国 語		
第 1 回	物語・小説(1)／心情①	単語の学習① 品詞分類表・名詞／和語①
第 2 回	物語・小説(2)／心情②	単語の学習② 動詞／慣用句①
第 3 回	説明文・論説文(1)／話題	単語の学習③ 形容詞・形容動詞／三字の熟語
第 4 回	説明文・論説文(2)／形式段落	単語の学習④ 副詞・連体詞・接続詞・感動詞／四字の熟語
第 5 回	総合	
第 6 回	物語・小説(3)／心情変化①	単語の学習⑤ 助動詞1／和語②
第 7 回	物語・小説(4)／心情変化②	単語の学習⑥ 助動詞2／慣用句②
第 8 回	説明文・論説文(3)／意味段落①	単語の学習⑦ 助詞1／同音異字・同音異義語
第 9 回	説明文・論説文(4)／意味段落②	単語の学習⑧ 助詞2／同訓異字
第10回	総合	
第11回	随筆文(1)／経験と感想①	文節と文節の関係① 主語・述語・修飾語／和語③
第12回	随筆文(2)／経験と感想②	文節と文節の関係② 分けて〈関係〉を考える／慣用句③
第13回	説明文・論説文(5)／要旨①	文と文の関係① 接続関係1／類義語
第14回	説明文・論説文(6)／要旨②	文と文の関係② 接続関係2／対義語①
第15回	総合	
第16回	随筆文(3)／意見と理由①	文と文の関係③ 因果関係／外来語
第17回	随筆文(4)／意見と理由②	文と文の関係④ 抽象と具体／ことわざ
第18回	物語・小説(5)／主題①	敬語①／対義語②
第19回	物語・小説(6)／主題②	敬語②／四季の言葉(春・夏)
第20回	総合	

	算 数	社 会	理 科
第 1 回	倍数と約数の利用	魚はどこから? ～日本の水産業～	季節と生物
第 2 回	いろいろな図形の面積	くらしに役立つ資源 ～地下資源と電力～	物の温度による変化
第 3 回	割合の利用	いろいろな工場 ～日本の工業 (1) ～	物のあたため方
第 4 回	いろいろな差集め算	うつりゆく工業のすがた ～日本の工業 (2) ～	季節と星座
第 5 回	総合	総合	総合
第 6 回	濃さ	公害と環境問題	気象の観測
第 7 回	売買損益	結びつく人・物・情報 ～交通・通信・情報化～	天気の変化
第 8 回	多角形の回転・転がり移動	日本と世界の結びつき ～日本の貿易～	てこと輪軸
第 9 回	円の回転・転がり移動	日本のすがた	植物のつくり
第10回	総合	総合	総合
第11回	場合の数 -ならべ方-	九州地方	植物の成長
第12回	場合の数 -組み合わせ方-	中国地方・四国地方	水溶液の濃さ
第13回	速さとグラフ	近畿地方	物の運動
第14回	水量の変化	中部地方	太陽系の天体
第15回	総合	総合	総合
第16回	旅人算とグラフ	関東地方	気体 (1)
第17回	いろいろな旅人算	東北地方・北海道地方	気体 (2)
第18回	数列と数表	日本のおもな都市・地形図の読み方	植物のはたらき
第19回	図形上の点の移動	統計資料の読み方	地球
第20回	総合	総合	総合

※こちらのカリキュラムは予定です。変更になる場合がございます。

第1回

国語

● 物語・小説(1)／心情①

学習内容 ■ 心情①

「出来事→気持ち→反応」という流れを意識しながら、論理的に心情を捉えることを学びます。

● 単語の学習① 品詞分類表・名詞／和語①

学習内容 ■ 品詞分類表を理解する ■ 名詞について知る ■ 和語を身につける

まずは「品詞分類表」に基づいて、各品詞の特徴を理解するところから始めます。「名詞」については、「普通名詞・固有名詞・数詞・代名詞」の4種類を正確に見分けられるようにすることが重要です。

また、『漢字とことば』では、「和語」を学習します。近年の中学入試では頻出の単元ですから、さまざまな語彙を幅広く身につけましょう。

算数

● 倍数と約数の利用

学習内容 ■ 倍数と約数 ■ わり算のあまりと等差数列 ■ 周期を調べる

小4で学習した倍数と約数の復習に加え、中学入試でよく出題される数の性質の文章題を学習します。

[わり算のあまりと等差数列] AでわるとBあまる整数について、小さい方から数えてN番目の数や、ある範囲の中にそのような数がいくつ含まれるかを求めます。等差数列の公式とは別に、倍数とあまりを利用した解法を身につけて、効率よく答えを求める方法を学習します。
[周期を調べる] 公倍数に関する文章題です。数直線やベン図などを利用して、1つの周期内で起こる回数を調べる問題を学習します。条件をベン図や数直線に正しく整理して、答えを求める練習をしましょう。

社会

● 魚はどこから? ～日本の水産業～

学習内容 ■ 漁場・漁港・漁法・漁獲量 ■ 水産業の現状と課題

地図や図(魚介類・漁法)・漁獲量グラフなど図版の読み取りが重要となります。水産物は海水の温度の影響を大きく受けます。暖かい海を好む魚介類、冷たい海を好む魚介類などと分けてまとめると良いでしょう。漁獲量の推移のグラフは頻出です。

水産業がさかんな日本ですが漁獲量は年々減少しています。この現状と減少の理由、そして課題や対策についてまとめましょう。「石油危機」や「200カイリ水域の設定」など国際社会との関係もポイントの一つです。

理科

● 季節と生物

学習内容 ■ 季節と植物 ■ 季節と昆虫 ■ 季節と動物

季節ごとの代表的な草木や昆虫・動物の様子についてまとめます。小4では、季節ごとに植物や動物について学習しましたが、今回は代表的な生物と、冬越しを中心に学習します。特に重要なのは、昆虫の冬越し(たまご・幼虫・さなぎ・成虫のどの状態なのか)や、昼の長さや植物の開花です。一つひとつしっかりと確認しておきましょう。

知識量が非常に多いため、優先順位をつけて知識を身につける必要があります。植物と昆虫以外では鳥の渡りや動物の冬眠などがよく出題されます。違いを正確に覚えるようにしておきましょう。

第2回

国語

● 物語・小説(2)／心情②

学習内容 ■ 心情②

心情の裏にある「背景」や、心情が表れた「間接描写」を捉えることを学びます。

● 単語の学習② 動詞／慣用句①

学習内容 ■ 動詞について知る ■ 慣用句を身につける

「動詞」については、はじめに「言い切りの形＝『～ウ段音』になる」ということを押さえましょう。そのうえで、「自動詞・他動詞」「可能動詞」といった応用的な知識についても学びます。

また、『漢字とことば』では、「慣用句」を学習します。文章読解にも通じる大切な単元ですから、一つひとつを着実に覚えていきましょう。

算数

● いろいろな図形の面積

学習内容 ■ 面積の復習 ■ 面積の求め方の工夫 ■ 三角形の合同～直角三角形の合同条件～

小4で学習した多角形や円・おうぎ形の面積の求め方の復習とともに、等積変形などを駆使して面積を求める方法を学習します。また、三角形の合同に関する知識も学習します。

[面積の求め方の工夫] 三角形の面積を求める際に、面積を求めやすくなるように移動させたり、底辺や高さの位置を変えたりなど、面積を求める工夫の仕方を身につけましょう。

[三角形の合同] 証明の問題は中学入試で出題されることはありませんが、合同条件は必須の知識です。合同条件をことばで覚えるだけでなく、どのような場合に合同な三角形が現れるのかについても理解しましょう。

社会

● 暮らしに役立つ資源 ～地下資源と電力～

学習内容 ■ 主な資源(石炭・石油・天然ガス) ■ 電力

日本は資源の多くを輸入に頼っているため、輸入相手国を覚えることが重要になります。加えて、エネルギー供給の割合のグラフも大切です。ここでは石油危機を踏まえたグラフの読み取りが必要となります。また、天然ガスの需要の伸びは近年の環境問題とも関連付けて考える必要があります。

電力については、化石燃料やウランという地下資源を用いた発電と、自然(再生可能)エネルギーを用いた発電に分けて考えましょう。ここでも東日本大震災や近年の環境問題を踏まえて考えることで理解が深まります。

理科

● 物の温度による変化

学習内容 ■ 物の状態と体積 ■ 空気や水の温度と体積 ■ 金属の温度と体積

空気や水、金属の温度変化による体積変化、水の状態変化について学習します。新しく覚える知識は多くありませんが、現象の理由を考える内容が多いので、難しく感じることもあるはずです。一つひとつ確認しておきましょう。

水を入れたフラスコをあたためる実験などは特に重要です。何が起きているのかを理解することが大切です。また、気体の体積変化の計算や、物質の三態と熱エネルギーの出入りも少し難しい内容になるので注意が必要です。水は日常生活において最も身近なものです。日ごろから身近な現象に目を向けるようにしておきましょう。

国語

● 説明文・論説文(1)／話題

学習内容 ■ 話題

「問かけ表現」や「くり返し使われている言葉」に着目することで、「話題」を正確に捉えることを学びます。

● 単語の学習③ 形容詞・形容動詞／三字の熟語

学習内容 ■ 形容詞・形容動詞について知る
■ 三字の熟語についての知識を深める

「形容詞・形容動詞」については、はじめに「言い切りの形＝『～い』『～だ』になる」ということを押さえます。そのうえで、「他の品詞との判別」という応用的な問題に挑戦します。

また、『漢字とことば』では、「三字の熟語」について学習します。聞き慣れない語彙も登場するでしょうから、意味も含めて丁寧に確認しましょう。

算数

● 割合の利用

学習内容 ■ 百分率と歩合
■ 割合の応用(1) ～相当算～
■ 割合の応用(2) ～還元算・割合の合成～

小4で学習した割合の基礎計算の復習から始まり、百分率と歩合といった新たな割合の表し方や、割合の文章題を学習します。

[割合の利用(1)] もとにする量を1として、問題文の条件に与えられた具体的な数の割合を求める問題を学習します。慣れるまでは線分図に整理して、割合を表す数は○で囲むなどして、条件を整理しましょう。

[割合の利用(2)] もとにする量が異なる割合が複数出てくる文章題を学習します。こちらも線分図に整理して条件を整理する方法が有効です。もとにする量が異なる割合は○や□など、異なる記号で囲み、しっかりと分類しましょう。

社会

● いろいろな工場 ～日本の工業(1)～

学習内容 ■ 重化学工業
■ 軽工業
■ 低公害車

重化学工業は現在、工業の4分の3を占めています。特に金属工業では鉄鋼業、機械工業では自動車工業、化学工業では石油化学工業が重要です。鉄鋼業では鉄がつくれるまでの流れ、自動車工業では流れ作業やジャストインタイム方式などの工夫、石油化学工業ではコンビナートのしくみを学習します。

軽工業では食料品工業・よう業・製紙パルプ工業、戦前の工業の中心であったせんい工業について考えます。よう業は名前だけでは何をつくる工業なのか想像しにくいので注意が必要です。さらに、重たいセメントをつくる工業もよう業のひとつなので軽工業に含まれることに注意しましょう。せんい工業は天然せんいを「綿」「絹」「毛」に分けて学習します。

理科

● 物のあたたまり方

学習内容 ■ 金属・水や空気のあたたまり方
■ 大地のあたたまり方
■ 熱の移動と温度変化

熱の移動について学習します。小5で新しく扱う内容は熱量と温度の計算、熱の放射で、半分は小4の学習内容の復習です。なかでも特に差がつきやすいのが熱量と温度の計算です。算数の「平均」と同じ計算になるので、苦手な場合は基本からしっかりと確認し、時間をとって演習しておいた方が良いでしょう。

熱の移動に関しては「伝導」「対流」「放射」の3つの伝わり方の基本的な考え方を身につけましょう。また、身近な現象や実験の原理を理解することも求められます。知識の暗記だけでなく、考えて解くことが必要になります。

国語

● 説明文・論説文(2)／形式段落

学習内容 ■ 形式段落

形式段落を意識しながら読み進め、自分なりに重要だと感じてチェックを入れた言葉や文に基づいて、「要点」を捉えるという読み方を身につけます。

● 単語の学習④ 副詞・連体詞・接続詞・感動詞／四字の熟語

学習内容 ■ 副詞・連体詞・接続詞・感動詞について知る
■ 四字の熟語についての知識を深める

「副詞」については、「呼応の副詞」についての知識を身につけます。そして、今回の単元で最も厄介なのが「連体詞」と「感動詞」です。その特徴を理解し、他の品詞と正確に判別することを目指します。なお、「接続詞」については、新たに学ぶことはありませんので、問題演習をするのみで大丈夫でしょう。

また、『漢字とことば』では、「四字熟語」を学習します。漢字で正確に書けるように、実際に書きながら覚えましょう。

算数

● いろいろな差集め算

学習内容 ■ 差集め算の基本(復習)
■ 個数がちがう差集め算
■ 差集め算の応用問題

小4の夏期講習会で学習した差集め算の復習をし、さらに発展した問題も学習します。

[個数がちがう差集め算] 買う個数や配る個数が揃っていれば、全体の差は求めやすいのですが、個数が揃っていない場合は全体の差を求めることが困難になります。よって、個数を揃えた場合の差に注目することが重要です。これまでに学習した和と差の文章題同様に、差に注目するのであれば、線分図に整理するのが有効です。算数が得意なお子様は、式だけで処理することにもチャレンジしてみましょう。

社会

● うつりゆく工業のすがた ～日本の工業(2)～

学習内容 ■ 工業地帯
■ 工業地域
■ 地場産業

ここで学習する工業地帯・地域は、京浜・中京・阪神・北九州・京葉・関東内陸・東海・瀬戸内の8つです。

各工業地帯・地域の特色を学習します。各工業地帯・地域の工業別出荷額の割合のグラフが読み取れるようになることを目指しましょう。

また、各工業地帯・地域にある工業都市をたくさん学習しますので、ここでは「地図」が特に重要です。後に学習する、鹿島臨海工業地域や北陸工業地域の主な工業都市と同じくらい大切になります。

他にも、代表的な地場産業として鯖江のメガネフレーム、今治のタオルについて押さえておきましょう。

理科

● 季節と星座

学習内容 ■ 四季の星座
■ 星の日周・年周運動
■ 星座早見

星座や星に関する知識と、星の動きについて学習します。星の明るさと等級、星の色と表面温度、四季の代表的な星座、北天の星座の動き、星座早見などは小4のときに学習しています。小5ではさらに、季節と時刻による、見える星座の変化や星の高度なども学習します。かなり内容が豊富になるので、知識に優先順位をつけて覚えるようにしましょう。

天体は正確に理解することがなかなか難しく、苦手意識を持ちやすい単元です。知識では、明るさと等級、色と表面温度、夏・冬の星座などに絞って学習すると良いでしょう。また、北の空の動きの計算は出題が多く、間違いやすいので注意が必要です。演習時間をしっかりと確保して取り組みましょう。

国語

● 物語・小説(3)／心情変化①

学習内容 ■ 心情変化①

「変化」を読み取る際に、「変化前→きっかけ→変化後」という3つのポイントを押さえることを学びます。

● 単語の学習⑤ 助動詞1／和語②

学習内容 ■ 助動詞について知る
■ 和語を身につける

「助動詞」については、「れる・られる」「う・よう」「た」「ない」を扱います。いずれも意味・用法を覚えながら、文中での使われ方を見分ける練習を重ねます。

また、『漢字とことば』では、第1回に続けて「和語」を学習します。

算数

● 濃さ

学習内容 ■ 濃さとは？
■ 食塩水の濃さを変える
■ 食塩水の混合・やりとり

第1回から第4回までは小4で学習した内容の復習、その発展が中心でしたが、ここからはこれまでに身につけた知識や解法を用いて新たなテーマを学習していきます。

[食塩水の混合・やりとり] 割合の学習、平均の問題の融合問題となります。異なる濃さの食塩水どうしを混ぜたり、水や食塩を混ぜたりする場合の濃さは平均の問題と考え方が同じです。まずは、食塩水の濃さの表し方を理解し、混合する問題は面積図を利用して濃さを求める方法を身につけましょう。

社会

● 公害と環境問題

学習内容 ■ 日本の工業の特色
■ 公害問題 ■ 伝統的工芸品

工業の特色は「変化」がポイントです。工業の中心の軽工業から重化学工業への変化や、工業の盛んな地域の臨海部から内陸部への広がり、日本から人件費の安い海外への工場の移転などが重要です。

中小工場についても学習します。大工場と中小工場を比較したグラフから中小工場の現状や問題点まで読み取れるようにしましょう。

また、四大公害裁判やさまざまな公害、そして国や地方公共団体の公害対策(環境保護)を学習します。

伝統的工業の現状と問題点を知り、主な伝統的工芸品まで学習します。主な伝統的工芸品については地図を使って生産地の位置を確認することも重要です。また、輪島塗と有田焼については作業工程まで理解しておくようにしましょう。

理科

● 気象の観測

学習内容 ■ 気温と地温
■ 雲と雨
■ 風向・風速・風力
■ 湿度・水蒸気

天気と気象は知識が多く、覚えることが学習の中心になります。まずは、観測機器の名称やその使い方を身につけましょう。覚えることが多くなるので、定着に時間がかかります。

気象の観測方法や観測したデータの見方も今回の大きなポイントになります。特に測定方法については決まったルールがありますので、原理と合わせてしっかりと定着させましょう。また、湿度表の見方や湿度、最高地温と最高気温のずれる理由、天候による気温の変化の特徴などもよく問われる内容です。

国語

● 物語・小説(4)／心情変化②

学習内容 ■ 心情変化②

「きっかけ」に着目しながら、その前後で対照的に変化する登場人物の心情を捉えるという視点を学びます。

● 単語の学習⑥ 助動詞2／慣用句②

学習内容 ■ 助動詞について知る
■ 慣用句を身につける

「助動詞」については、「そうだ」「ようだ」「らしい」を扱います。これらも意味・用法を覚えながら、文中での使われ方を見分ける練習を重ねましょう。

また、『漢字とことば』では、第2回に続き「慣用句」を学習します。

算数

● 売買損益

学習内容 ■ 売買損益の基本
■ 複数個の売買

第6回に引き続き、新たな割合の文章題を学習します。仕入れ値、定価、利益、売り上げなどの用語を覚えることに加え、割引、割増の計算方法を身につけましょう。

[売買損益の基本] 具体的な金額について、割増、割引した金額を計算することはそれほど難しくはありませんが、具体的な数として与えられている条件が利益や損失の場合、仕入れ値の値を①とおい、相当算を利用する問題として処理します。予習シリーズの例題3がその問題に該当するので、まずは例題3の類題でしっかりと演習を積み、解法の流れを理解しましょう。

社会

● 結びつく人・物・情報 ～交通・通信・情報化～

学習内容 ■ 国内交通 ■ 海外との交通
■ 通信の発達と情報化社会の課題

国内交通の変化を自動車・鉄道・航空機・船の4つの交通手段から学習します。また、新幹線網や高速道路網の広がり、モーダルシフトなどの環境と交通について見ていきます。さらに「新東名高速道路」の工夫や役割を確認しましょう。

海外との交通では航空輸送と海上輸送の特色を比較しながら理解することが大切です。

「のろし」や「飛脚」から「インターネット」まで、通信システムの特色と発達についても重要なポイントです。さらに近年の情報化社会の現状と問題点も考えてみましょう。

理科

● 天気の変化

学習内容 ■ 天気をつくり出すもの
■ 気圧と風・気団と前線
■ 天気の変化

風の吹く理由、気団・前線に関する知識、四季の天気の特徴などを中心に学習します。第6回よりも考える内容が増えますが、知識量も多いので、時間配分には注意が必要です。まずは起こる現象を一つずつ覚えていきましょう。特に海風・陸風の吹く仕組みは、季節風にもつながる内容になるので正確に理解しておくことが良いでしょう。

四季の天気では、よく出る「梅雨」や「冬」についてしっかりと確認しておきましょう。衛星写真を判断できるようにしておくことも必要です。梅雨は日本列島に横長の厚い雲が張り出すこと、冬は日本海上にすじ状の雲があることが大きな特徴になります。

国語

● 説明文・論説文(3)／意味段落①

学習内容 ■意味段落①

形式段落ごとの要点に基づいて、より大きな「意味段落」へとまとめていく視点を学びます。

● 単語の学習⑦ 助詞1／同音異字・同音異義語

学習内容 ■助詞について知る
■同音異字・同音異義語を身につける

「助詞」については、「の」「が」「さえ」を扱います。いずれも意味・用法が複数あるので、「別の言葉に置き換える」「前後の関係を考える」といった方法で見分けるようにするとよいでしょう。

また、『漢字とことば』で学習する「同音異字・同音異義語」については、単に字面を覚えるだけでなく、どの文脈の際にどの字を使うのかを見分けられるようにすることが大切です。

算数

● 多角形の回転・転がり移動

学習内容 ■多角形の回転移動
■多角形の転がり移動

これまで学習してきた多角形や円の求積問題に、「動き」が加わります。今回学習するのは多角形の回転移動や転がり移動の問題です。どちらも回転の中心にあたる点が存在し、その点を中心におうぎ形の弧を描きます。まずは、作図の方法を理解し、自ら求める部分を作図できるようにしましょう。

〔多角形の回転移動〕 回転移動の問題で重要なことは、図形全体の動きではなく、まずは点だけを動かすことが大切です。例えば、三角形を回転させるとき、その三角形のある辺が動いたあとの図形の面積を求める場合、辺の両端の2点の動きを作図すれば、辺が通過した部分はその2点の動いた線によって囲まれる部分となります。図形全体ではなく、まずは点の動きを考えるようにしましょう。

社会

● 日本と世界の結びつき ～日本の貿易～

学習内容 ■主な貿易相手国
■日本の貿易の特色
■為替レートと貿易

この単元は全般的に統計資料の読み取りが重要になります。統計資料を使って主な輸入相手国、輸出相手国を学習します。さらに、日本の主な貿易港の貿易品の特色まで学習します。

また、戦前から高度経済成長期を経て現在までの貿易の変化についても押さえる必要があります。

「円高」とは何か、「円安」とは何か。この円高や円安が貿易に与える影響とはどのようなことがあるかまで学習します。「円高」「円安」といっても、「ドル」を基準に考えることが重要なポイントです。

理科

● てこと輪軸

学習内容 ■てこの3点と利用
■てこのつり合い・棒の重さと重心
■輪軸

てこの3点、重さのある棒のつり合い、輪軸などについて学習します。てこの3点に関しては、身近な道具と結び付けて覚えるようにしましょう。棒のつり合いについては、棒の支点を中心に左右に回転しようとするつり合いと、上下の方向のつり合いについてしっかりと意識して計算に取り組むことが重要です。特に、棒に重さがあることを前提にした問題では、棒の重心の位置に棒の重さと同じ重さの力がかかることを意識することが大切です。問題文を読んで棒の重さの有無を必ず確認するようにしましょう。

輪軸のつり合いに関しては、てこのつり合いと同じ考え方で解きます。ただし、ひもが上下だけでなく、左右からもかけられるので、回転方向に注意する必要があります。

国語

● 説明文・論説文(4)／意味段落②

学習内容 ■意味段落②

意味段落の役割を考え、文章全体の構造を捉えることを目指します。

● 単語の学習⑧ 助詞2／同訓異字

学習内容 ■助詞について知る
■同訓異字を身につける

「助詞」については、「と」「で」を扱います。これらも意味・用法が複数あるので、問題演習を通じて判別の感覚を養っていきましょう。

また、『漢字とことば』で学習する「同訓異字」は、同音異義語と同様に、漢字そのものだけでなく、文脈にふさわしい字を使い分けられるようにする必要があります。

算数

● 円の回転・転がり移動

学習内容 ■円やおうぎ形の回転移動
■円の転がり移動

円が、直線上や多角形のまわり、おうぎ形や円のまわりなどを移動するとき、円が通過する部分の面積を求める問題を学習します。

〔円の転がり移動〕 円が移動するとき、まずは円の中心の動きをしっかりと理解しましょう。円が直線や弧に沿って転がるとき、円が直線や弧と接する点を接点といいます。その接点についての性質をしっかりと理解しておくことで、正しい円の動きを理解でき、正確な作図をすることができるようになります。

また、円周率の絡む問題なので、面積などを求める計算をする際は、式をまとめて計算することを心掛けましょう。

社会

● 日本のすがた

学習内容 ■日本の位置
■人口

日本の位置や「領海」「排他的経済水域」、そして「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」の領土問題について学習します。また、「緯線」「経線」についても重要です。

日本の人口を①世界のなかの日本の人口、②地域における人口のかたより（過疎・過密）、③産業による人口のかたより（第一次・第二次・第三次産業）、④年齢別かたより、と4つの方向から学習します。特に「過疎・過密」「少子高齢化」の問題は入試頻出事項といえるでしょう。

また、この単元では世界地図を使って、アメリカやイギリス、ドイツなど世界の主な国々の位置も合わせて覚えていくことが大切です。

理科

● 植物のつくり

学習内容 ■植物の分類
■根・茎・葉のつくり

植物の分類方法や、植物の根・茎・葉について、植物全般に共通する部分の定着を目指していきます。覚えることが多くなります。まずは各部分の名称を覚えていくようにしてください。

植物の分類については、維管束の有無、種子で増えるかどうか、胚珠がむきだしかどうか、子葉の枚数などで分類していきます。根・茎・葉のつくりに関しては、単子葉植物と双子葉植物によるつくりの違いを押さえながら、各部分の名前を覚えていくと良いでしょう。

国語

● 随筆文(1)／経験と感想①

学習内容 ■ 経験と感想①

「随筆文」とは「筆者が自身の経験や見聞きした事実に基づき、意見や感想を記した文章」です。まずは『「経験・事実」と「意見・感想」を読み分ける』という、随筆文の基本的な読み方を身につけましょう。

● 文節と文節の関係① 主語・述語・修飾語／和語③

学習内容 ■ 主語・述語・修飾語についての理解を深める
■ 和語を身につける

「文節と文節の関係①」では、「主語・述語関係」と「修飾・被修飾関係」を見抜く練習を重ねます。

また、『漢字とことば』では、第1・6回に続けて「和語」を学習します。身につけた語彙は、記述問題の際に意識的に使ってみるなどして、使いこなせる自分の言葉にしていきたいと思います。

算数

● 場合の数－ならべ方－

学習内容 ■ 和の法則 ■ 積の法則
■ ならべ方 ■ ぬり分けの問題

小4の夏期講習会で場合の数については一度学習していますが、その際は「樹形図」を用いて、全ての場合をもれなくかき並べる方法のみ学習しました。第11回では、さまざまな順列の問題を、計算によって求める方法を学習します。

「積の法則」 人の並べ方やカードの並べ方の問題を、樹形図ではなく、かけ算によって求める方法を学習します。全て異なる(区別のつく)ものを並べる場合はそれほど難しくはありませんが、一部同じものが含まれていたり、並べ方に制限があったりと、問題の条件はさまざまです。場合の数は基礎・基本の考え方を正確に理解することが大切です。無理に難問に取り組むよりも、基本問題に対して、問題の条件に応じた解法の選択ができるようにしましょう。

社会

● 九州地方

学習内容 ■ 九州地方の自然と農林水産業
■ 九州地方の工業と交通
■ 沖縄県

九州地方の地形と気候を知り、それに関連の深い産業(主に農林水産業)を学習します。温暖で日照時間が長い気候を利用してさかんになった宮崎平野の野菜の促成栽培など、自然と産業を結び付けて九州地方を理解することが大切です。

また、世界遺産にも登録された八幡製鉄所から発展した北九州工業地帯や、大分県や長崎県など九州各地の工業都市について確認します。交通については関門海峡の交通と、九州とアジアの結び付きをしっかりと見ておきましょう。

加えて、沖縄県の位置、自然から琉球王国・戦争、そして沖縄県の現状を学習します。

理科

● 植物の成長

学習内容 ■ 種子のつくり・発芽と成長
■ 花のつくりと受粉
■ いろいろな花・果実

種子や花のつくり、発芽や成長、果実について学習します。種子については、発芽に必要な養分を蓄える胚乳の有無で分類します。種子の発芽の実験では、各条件が必要かどうかを調べるために、調べたい項目以外を揃えて比較する対照実験がよく出題されますので、しっかりと練習しましょう。

花粉の運搬を風にまかせる方法と虫にまかせる方法も重要です。花のつくりや特徴は、どちらの方法で受粉するのかによって大きく異なります。理由と合わせて確認すると効果的です。今回は暗記すべき知識の量が多いので、何回かに分けて覚えていくようにしてください。

国語

● 随筆文(2)／経験と感想②

学習内容 ■ 経験と感想②

随筆文の中でも「文学的随筆文」を扱い、「主題」を捉える練習を重ねます。

● 文節と文節の関係② 分けて「関係」を考える／慣用句③

学習内容 ■ 文を分けて、内容を正確に理解する
■ 慣用句を身につける

「文節と文節の関係②」では、第11回で学習した文節の知識を文章読解に活かす視点を学びます。長い文でも、文節関係に着目することで、内容を正確に捉えることを目指します。

また、『漢字とことば』では、第2・7回に続けて「慣用句」を学習します。言葉と意味を結び付けながら地道に覚える努力を重ねましょう。

算数

● 場合の数－組み合わせ方－

学習内容 ■ 組み合わせの樹形図(復習)
■ 組み合わせの計算
■ ならべ方と組み合わせの利用
■ リーグ戦とトーナメント戦

第11回同様に、小4で学習した組み合わせの問題を、計算によって求める方法を学習します。

「組み合わせの計算」 並べ方と異なり、今回は組み合わせを考えるだけなので、順番を並べ替えたものは同じものとして考えます。そのため、前回学習した積の法則を用いて計算した後、並べ方が同じであるもの、つまり重複分を引く必要があります。場合の数では、重複を引く際に、順列で割るという方法をとります。その仕組みを正確に理解するには時間がかかりますが、順列同様に、まずは基本問題を中心に学習し、問題の条件に応じて、正しい解法を選択できるようにしましょう。

社会

● 中国地方・四国地方

学習内容 ■ 中国地方・四国地方の自然と農林水産業
■ 中国地方・四国地方の工業と交通

中国地方・四国地方の地形と気候を知り、それに関連の深い産業(主に農林水産業)を学習します。鳥取砂丘周辺の特色ある農業や、温暖で降水量の少ない瀬戸内の気候に適した果物栽培や小豆島のオリーブ栽培などについても覚えましょう。また、水産業では環境(赤潮)とも関連付けて理解することが重要です。

5つの県にまたがる瀬戸内工業地域を中心に中国地方・四国地方の工業についても確認します。広い地域に点在する工業都市を学習するため、地図を活用すると良いでしょう。交通では本州・四国連絡橋と連絡橋が周辺の地域に与えた影響をプラス、マイナスの両面から考えます。

さらに、過疎地の現状と特色ある過疎化対策も学習します。

理科

● 水溶液の濃さ

学習内容 ■ 水溶液
■ 溶解度・水溶液の濃さ
■ 溶質の取り出し方

水溶液の濃度、溶解度の考え方と計算について学習します。濃度の計算は算数で扱った内容とほぼ同じ内容です。式だけで解くよりも天秤図や面積図を利用して解くと理解しやすくなります。

溶解度の計算では水量がポイントになります。水100gなのか溶液100gなのか常に意識することが重要です。まずは基本となる計算問題に積極的に取り組んでいき、解ける問題を増やしていきたいと思います。

国語

● 説明文・論説文(5)／要旨①

学習内容 ■要旨①

意味段落の中でも「結論段落」に着目することで、「要旨」を正確に捉える練習を重ねます。

● 文と文の関係① 接続関係1／類義語

学習内容 ■七つの接続関係について知る
■類義語を身につける

「文と文の関係①」では、「七つの接続関係」について学びます。接続語に関する問題において、「なんとなく」という感覚的に解くのではなく、「前後の関係を考える」ことで論理的に解く姿勢を身につけましょう。

また、『漢字とことば』では、「類義語」を扱います。高度な語彙も登場するので、意味を確認しながら覚えていきましょう。

算数

● 速さとグラフ

学習内容 ■速さ・道のり・時間の関係(復習)
■平均の速さ ■進行を表すグラフ
■速さのつるかめ算 ■速さと周期

小4で学習した速さの問題を復習し、さらに発展的な問題に取り組みます。

[速さ・道のり・時間の関係(復習)] この機会に改めて単位を揃えて計算することを復習しましょう。分数を用いて時間を表すなど、速さの文章題の基礎をしっかりと確認しておきましょう。

[進行を表すグラフ] 小4で水量に関する問題をテーマにグラフの読みとり方を学習しました。今回は速さの問題でも、進行の様子を表すグラフ(ダイヤグラム)を学習します。グラフの傾きが緩やかであれば速さは遅く、傾きが急であれば速いことを理解し、さまざまな問題を通じて、グラフから動きをイメージできるようにしましょう。

社会

● 近畿地方

学習内容 ■近畿地方の自然と農林水産業
■近畿地方の工業と交通

近畿地方の地形と気候を知り、それに関連の深い産業(主に農林水産業)を学習します。大阪平野や淡路島の近郊農業や、平地の少ないことからさかんになった和歌山県の果樹栽培などについて整理しましょう。他にも、奈良県の大和郡山ではかつての水不足に備えてつくられた池を利用した金魚の養殖、志摩半島や淡路島では水産業がさかんです。

また、阪神工業地帯を中心に近畿地方の工業を学習します。単なる工業都市の学習だけではなく、中小工場が多いことの課題や問題点まで考えていきます。交通では鉄道や高速道路などの陸上交通ばかりではなく貿易港(神戸港・関西国際空港の特色)についても押さえます。

近畿地方を中心に名付けられた旧国名も学習します。

理科

● 物の運動

学習内容 ■ジェットコースターの運動
■ふり子の運動・衝突
■斜面を転がる球の運動
■慣性の法則

等速直線運動、ふり子の運動、斜面を転がる球の運動など運動全般を扱います。そのなかでも「ふり子」は特に重要になります。ふり子の周期は振幅やおもりの重さに関係なく、ふり子の長さによって決まります。ふり子の周期を表から求める問題は頻出ですのでしっかりと練習するようにしましょう。

斜面を転がる球の運動では転がしはじめからの高さや重さと、速さや飛ぶ距離の関係を理解することが重要です。

国語

● 説明文・論説文(6)／要旨②

学習内容 ■要旨②

「話題→説明→結論」という文章全体の構造を捉えたうえで、「要旨」を自力でまとめることを目指します。

● 文と文の関係② 接続関係2／対義語①

学習内容 ■七つの接続関係についての理解を深める
■対義語を身につける

「文と文の関係②」では、前回に続けて「七つの接続関係」について学びます。最終的には、その知識を文章読解に活かすことへとつながります。

また、『漢字とことば』では、「対義語」を扱います。文章読解においても、「対比関係」を読み取るために重要な言語知識ですから、しっかりと身につけましょう。

算数

● 水量の変化

学習内容 ■底面積の変化と水の深さ
■水量変化のつるかめ算
■仕切りのある容器
■容器をかたむける問題

速さに引き続き、グラフを伴う問題を学習します。速さの問題において、グラフの傾きの変化は速度の変化を表しますが、水量の問題では、注水・排水の速度が変化する以外にも、容器の底面積の変化も考えられます。容器の特徴を確認し、グラフから水量の変化の様子をイメージできるようにしましょう。

[容器をかたむける問題] 直方体の容器に水を入れ、その容器を1つの辺を軸にして容器を傾けた場合の変化を考えます。1つの辺を軸に傾けるのであれば、正面から見た面を底面とし、奥行きを高さとする角柱とみなすことができます。

社会

● 中部地方

学習内容 ■中部地方の自然と農林水産業
■中部地方の工業と資源・エネルギー

中部地方の地形と気候を知り、それに関連の深い産業(主に農林水産業)を学習します。積雪の期間が長いことから米の単作地帯となった北陸地方、そして高冷地農業や果樹栽培という特色を持つ中央高地の農業、さらに牧之原や渥美半島などの特色のある東海地方の農業を整理していきましょう。

中部地方の工業は中京工業地帯・東海工業地域・諏訪湖周辺の工業・北陸工業地域と4つに分けて理解することがポイントです。諏訪湖周辺では産業構造の変化に注目します。資源・エネルギーについては新潟県で産出される原油や天然ガス、そして中部地方の水力発電、原子力発電をしっかりと覚えるようにしましょう。

理科

● 太陽系の天体

学習内容 ■いろいろな星 ■月の満ち欠け・動き
■月といろいろな現象

惑星や衛星、月の見え方と動きについて学習します。小4では月の形と名称や見える時刻について、小5ではその原理を理解していきます。授業では満ち欠けの周期からの簡単な計算や、自転・公転からの計算問題も扱いますので、少し難しい内容も含まれますが、少しずつ慣れていきましょう。

まずは満ち欠けをしたときの月の形の変化や、月の形ごとの南中時刻をしっかりと答えられるようにしましょう。次に公転周期や満ち欠けの周期、月の一日あたりの動きや日食・月食など月で起こるさまざまな現象について理解することが大切です。難しい内容も多くありますが、単に暗記するだけでなく、理由も含めて答えられるようにしていきましょう。

国語

● 随筆文(3)／意見と理由①

学習内容 ■意見と理由①

第11・12回で学習した『「経験・事実」と『意見・感想』を読み分ける』という随筆文の基本的な読み方を振り返りながら、今回は「論説的随筆文」を扱います。

● 文と文の関係③ 因果関係／外来語

学習内容 ■因果関係を捉える
■外来語を身につける

「文と文の関係③」では、さまざまな「因果関係」について学びます。文章読解において、因果関係を示す表現に着目することで、解答を導く練習を重ねます。

また、『漢字とことば』では、「外来語」を扱います。お子様にとっては馴染みのない語彙も多いでしょうから、一つひとつ焦らずに定着させていきましょう。

算数

● 旅人算とグラフ

学習内容 ■旅人算の基本
■旅人算とグラフ
■折り返しの旅人算

第13回の速さの問題から発展し、登場人物が2人以上になる速さの問題を学習します。2人がすれ違うまでの時間や追いこすまでの時間を求める問題を学習します。

【旅人算の基本】 旅人算では、すれ違ったり、追いこしたりするまでの間に、2人が進んだ道のりの和や差に注目して解く問題です。したがって、2人が動いた和や差を理解するために有効な手段は線分図です。折り返してからすれ違ったり追いこしたりするなど、動きが複雑になったときは線分図を用いて、和や差を確認できるようにしましょう。

社会

● 関東地方

学習内容 ■関東地方の自然と農林水産業
■関東地方の工業と交通
■東京

関東地方の地形と気候を知り、それに関連の深い産業(主に農林水産業)を学習します。大消費地東京周辺の近郊農業のほか、群馬県の高冷地農業や利根川下流域の早稲米の栽培など特色ある農業も押さえます。

関東地方の工業は京浜工業地帯・関東内陸工業地域・京葉工業地域・鹿島臨海工業地域の4つに分けて理解することが求められます。交通では東京を中心に交通網が広がっている様子をイメージできるようにしましょう。

また、巨大都市東京について、人口・水道水・東京湾岸の開発や環境保護などに焦点を合わせて学習します。

理科

● 気体(1)

学習内容 ■ヒトの生活と気体
■気体の集め方
■気体の性質とつくり方

ヒトの生活と気体、気体の集め方、主要な気体について学習します。酸素・二酸化炭素・水素の特徴は、よく出題されますので、しっかりと答えることができるようにしていきましょう。

ヒトの生活と気体に関しては、身近な気体について学習します。どのような使い方をされているかを確認しながら覚えていきましょう。気体の集め方を判別するためには、水に溶ける気体なのかどうか、空気と比べたときに重さが重いのか軽いのかを覚えている必要があります。それぞれの気体の発生方法と合わせて優先的に覚えるようにしてください。

国語

● 随筆文(4)／意見と理由②

学習内容 ■意見と理由②

前回に続けて「論説的随筆文」を扱い、「要旨」を読み取ることを目指します。

● 文と文の関係④ 抽象と具体／ことわざ

学習内容 ■抽象⇄具体を捉える
■ことわざを身につける

「文と文の関係④」では、「抽象⇄具体」を見分ける視点について学びます。これは特に説明文・論説文の読解において重要な視点です。「順接・例示・換言」といった接続表現に着目することで、文脈を的確に掴む練習を重ねます。

また、『漢字とことば』では、「ことわざ」を扱います。中学入試の言語知識単元において、基本中の基本ともいえる単元ですから、扱ったものは着実に身につける必要があります。

算数

● いろいろな旅人算

学習内容 ■円周上の旅人算
■3人以上の旅人算
■2人の間の距離のグラフ

第16回では直線上の動きが中心であったのに対し、第17回では円周上を回るなど、動きが変わります。

【円周上の旅人算】 同じ円周上を、同じ速さで回り続けるのであれば、必ず規則が生じます。その点を理解することが大切です。例えば、「円周上のある点から同時に出発して、Aさんは右回りにちょうど2周、Bさんは左回りにちょうど3周したとき、AさんとBさんは何回出会うでしょうか。」円周上を回るのであれば、2人が進んだ距離の和が円周の長さと同じになるごとに会います。よって、2人が進んだ距離の和は、 $2+3=5$ (周分)なので、5回出会います。このように、円周上の旅人算では、出会う時間や回数にも規則があることを理解しましょう。

社会

● 東北地方・北海道地方

学習内容 ■東北地方の自然と産業
■北海道地方の自然と産業

東北地方と北海道地方の自然(地形や気候)の特色を知り、関連の深い産業について学習します。他の地方に比べて、工業よりも農林水産業での重要事項が多いことに加えて、各道県が広いため、自然の重要度が高い単元でもあります。交通では新幹線、資源・エネルギーでは地熱発電や風力発電などの自然エネルギーを用いた発電が重要になります。

理科

● 気体(2)

学習内容 ■水素の発生
■二酸化炭素の発生
■酸素の発生

気体の発生方法と、計算問題の解き方について学習します。表やグラフから、薬品が過不足なく反応するときの量を導き出し、その数値から気体の発生量や反応によってつくり出された物質質量などを求めることができるようにしていくことが重要です。

水素の発生については、混ぜ合わせる金属と液体の組み合わせによって、気体が発生するかどうかをしっかりと覚えておく必要があります。計算問題の解法を身につける前にしっかりと確認していきましょう。化学反応の計算問題の解法には共通点が存在します。まずは基本的な解法の型を身につけることを目標に練習してください。

国語

● 物語・小説(5)／主題①

学習内容 ■ 主題①

一読後に全体を大きく見渡して、作者が最も伝えたいメッセージ＝「主題」を捉えることを学びます。

● 敬語①／対義語②

学習内容 ■ 尊敬語・謙譲語・丁寧語

■ 対義語を身につける

「敬語」については、はじめに「尊敬語・謙譲語・丁寧語」の違いを理解するところから始めます。そのうえで、文中の敬語がそのうちのどれにあたるのかを正確に見分けられるようにすることが目標です。

また、『漢字とことば』では、第14回に続けて「対義語」を扱います。高度な語彙も登場しますから、知らなかった言葉は意味も確認しながら丁寧に覚えていくことが大切です。

算数

● 数列と数表

学習内容 ■ いろいろな数列 ■ 数表の問題

小4で学習した等差数列から発展し、階差数列など、さまざまな数列の問題、数表の問題を学習します。このような問題では、ずれることなく正確にあてる解き方を身につけることが大切です。

[数表の問題] 数字が規則的に並んだ表があり、そのA行目のB列目に並ぶ数を求める、といった問題を学習します。このような問題を見たとき、先々の数字を全て書き並べるお子様も見られます。全部書くだけではなくて、計算による方法を身につけるべき、と思われるかもしれませんが、全て書きだすという方法は、半分正解で半分不正解といったところでは、計算だけでは確かにリスクを感じます。したがって、数表の問題は、①答えがどのあたりに並ぶのか見当をつける(ここまでは計算によって)、②見当をつけたら、その部分を丁寧に調べる(ここから書きだす)、といった流れが有効な手段です。

社会

● 日本のおもな都市・地形図の読み方

学習内容 ■ 日本のおもな都市

■ 地形図の読み取り

都市に関しては、百万都市・政令指定都市を中心に全国の重要都市についてまとめます。政令指定都市を人口100万人以上のものと100万人未満のものに分けると整理しやすくなります。

地形図については、国土地理院が発行する日本各地の地形図を題材に読み取っていきます。扇状地周辺の水資源や天井川なども代表的な地形図を用いて学習します。

理科

● 植物のはたらき

学習内容 ■ 光合成と呼吸

■ 植物と水

葉の主なはたらきである「光合成」「呼吸」「蒸散」について学習します。光合成は植物にとって最も重要なはたらきのひとつで、入試でもよく出題されます。特にアサガオを使った光合成の実験は重要です。単に覚えるのではなく、一つひとつの手順について、なぜそれを行うかという意味を理解していきましょう。

蒸散については、そのはたらきとともに蒸散しやすい条件も覚えておきましょう。また、実験から各部の蒸散量を求める計算がありますが、比較的解きやすい計算です。演習する時間をとって基本問題は解けるようにしておきましょう。呼吸に関しては、光合成とのつながりを踏まえ、全体の流れを掴んでおくことが大切です。

国語

● 物語・小説(6)／主題②

学習内容 ■ 主題②

作品のクライマックス部分に着目し、自分の言葉で「主題」をまとめることを目指します。

● 敬語②／四季の言葉(春・夏)

学習内容 ■ 敬語動詞

■ 春・夏にまつわる言葉

「敬語」については、前回に続けて「尊敬語・謙譲語・丁寧語」を見分ける練習を重ねるとともに、基本的な「敬語動詞」を身につけます。普通語を、正確に尊敬語や謙譲語へと言い換えられるようになることが目標です。

また、『漢字とことば』では、春・夏の気象・植物・動物・生活にまつわる言葉を身につけていきます。

算数

● 図形上の点の移動

学習内容 ■ 点の移動 ■ 点の移動とグラフ

■ 角速度の利用

点の移動は、速さの問題、図形の問題、周期的に動き続けるのであれば数や規則の問題……のようにさまざまな分野の要素が詰まった単元です。

[点の移動] 1つの点の動きに関する問題はそれほど難しくありませんが、例題2や3のように2点が動くとなると難度は上がります。例えば、例題3のように直線PQが台形の辺と平行になる時間を求める場合、PとQがそれぞれの辺上を動いているのかはすぐに判断できるものではありません。点の移動で重要なことは「仮定」と「検証」です。まずはPとQの位置を「仮定」して答えを出してみる、仮定した通りの位置にPとQがあるのか「検証」する、といった方針で問題を解いてみましょう。

社会

● 統計資料の読み方

学習内容 ■ 統計資料の読み取り

円グラフ・帯グラフ・折れ線グラフなどのグラフや、表にまとめられた統計などをもとにした問題の解き方について資料の着眼点を紹介しながらまとめていきます。実際に問題を解いてみることで、統計資料の読み取りの経験値を高め、考える力を要求される問題に対応する力をつけていきます。

理科

● 地球

学習内容 ■ 地球のようす・歴史

■ 地球上の位置

地球の歴史や様子、地球上の位置などに関して、知識から計算まで幅広く学習します。地球の様子は地球内部の構造などを、地球の歴史は地質時代の様子や各時代に生存していた生物の名前などを押さえておきましょう。地球の位置は、地球上の各地点における方位や、時刻の判別方法、緯度や経度による違いが重要です。

地球の内部構造では、プレートの動きに関する出題が増えており、差がつきやすいところになるので、しっかりと確認しておきましょう。

後期カリキュラム 9月～1月(全19回)

	国語	
第1回	物語・小説(7)／心情変化③	表現技法①／和語①
第2回	説明文・論説文(7)／細部分析	表現技法②／慣用句①
第3回	物語・小説(8)／性格と人物像	表現技法③／三字の熟語
第4回	詩／詩を読み解く	手紙文の約束事／四字の熟語
第5回	総合	
第6回	物語・小説(9)／表現を読む	単語の学習① 助動詞／和語②
第7回	説明文・論説文(8)／データや情報を読む	単語の学習② 助詞／慣用句②
第8回	短歌／短歌を読み解く	文語的表現①／同音異字・同音異義語
第9回	俳句／俳句を読み解く	文語的表現②／同訓異字
第10回	総合	
第11回	随筆文(5)／経験と感想③	文節と文節の関係① 主語・述語・修飾語／外来語
第12回	随筆文(6)／意見と理由③	文節と文節の関係② 分けて〈関係〉を考える／ことわざ
第13回	物語・小説(10)／主題	文と文の関係① 接続関係1／類義語
第14回	説明文・論説文(9)／主張と根拠	文と文の関係② 接続関係2／対義語
第15回	総合	
第16回	物語・小説(11)／物語・小説の読解総復習	文と文の関係③ 因果関係／故事成語
第17回	説明文・論説文(10)／説明文・論説文の読解総復習	文と文の関係④ 抽象と具体／四季の言葉(秋・冬)
第18回	随筆文(7)／随筆文の読解総復習	文と文の関係⑤ 換言と対比／暦の知識
第19回	総合	

	算数	社会	理科
第1回	比の利用	旧石器時代・縄文時代・弥生時代	生物のつながり
第2回	平面図形と比 ー相似の利用ー	古墳時代・飛鳥時代	てこ・滑車・輪軸
第3回	平面図形と比 ー辺の比と面積比ー	奈良時代	水溶液の中和
第4回	つるかめ算の応用と年令算	平安時代	ヒトと動物の消化・吸収
第5回	総合	総合	総合
第6回	速さと比	鎌倉時代	ヒトと動物の呼吸・循環
第7回	旅人算と比	室町時代	物の燃焼
第8回	平面図形と比 ーまとめと応用ー	安土・桃山時代	ばね・浮力・圧力
第9回	図形の移動	江戸時代(1)	流水と地層
第10回	総合	総合	総合
第11回	仕事に関する問題	江戸時代(2)	光と音
第12回	水深の変化と比	江戸時代(3)	火山と地震
第13回	整数の分解と構成	江戸時代(4)	生命の誕生
第14回	立方体・直方体の切断	明治時代(1)	電流と抵抗
第15回	総合	総合	総合
第16回	濃さと比	明治時代(2)	電流と磁界
第17回	いろいろな立体の求積	大正時代	太陽の動き
第18回	いろいろな速さの問題	昭和時代(1)	太陽と地球
第19回	総合	総合	総合

※こちらのカリキュラムは予定です。変更になる場合がございます。

第1回

国語

● 物語・小説(7)／心情変化③

学習内容 ■ 心情変化③

「変化前→きっかけ→変化後」という3つのポイントを押さえながら、作品全体での登場人物の心情変化を読み取ることを学びます。

● 表現技法①／和語①

学習内容 ■ 直喩・隠喩・擬人法を理解する ■ 和語を身につける

3種類の比喩法の違いを理解したうえで、文章中の比喩表現が表すイメージを言語化する練習を重ねます。

また、『漢字とことば』では「和語」を扱います。「覚えておきたい和語」に紹介されているものを、丁寧に身につけていきましょう。

算数

● 比の利用

学習内容 ■ 比の性質 ■ 比の積・比の商 ■ 倍数算

『予習シリーズ夏期必修編』で学習した「比の表し方」・「比例式と逆比」の復習に加え、「比の積・比の商」、「倍数算」という新たな問題も学習します。

「比の積・比の商」比どうしをかけたり、割ったりして新たな比を求める学習です。底辺×高さ＝面積、速さ×時間＝道のり、が成り立つように、それぞれの値が比で表される数であっても、同様に計算することができます。今後学習する図形と比・速さと比はもちろんのこと、これまでに学習してきた文章題でもこの考え方を活用する問題は数多く出てくるので、しっかりと理解しておきましょう。

「倍数算」やりとりの前後や、お金を使う前後の比の条件から数量を求める文章題です。同じ数量を表す比はそろえる、という比の基本方針をここで学習しましょう。

社会

● 旧石器時代・縄文時代・弥生時代

学習内容 ■ 旧石器時代の国土とくらし ■ 日本列島の誕生と縄文時代 ■ 弥生時代と中国の史書

打製石器の発見(群馬県岩宿遺跡)により、日本における旧石器時代の存在が明らかになりました。

縄文時代は土器や土偶、竪穴住居、貝塚など遺跡・遺物そのものが目につきますが、土器による生活の変化などにも注目しましょう。また、黒曜石やヒスイの広がりから交易についても学習します。

弥生時代は稲作による生活の変化(貧富の差・身分の差)を確認するとともに、当時の稲作について考えます。さらに、中国の史書『漢書』地理志、『後漢書』東夷伝、『魏志』倭人伝からそれぞれの時代の日本の様子までイメージしてみましょう。

吉野ヶ里遺跡について、当時は限られた土地でしか稲作ができなかったことから土地をめぐる争いが絶えなかったことなどを理解できるようにします。

理科

● 生物のつながり

学習内容 ■ 環境と植物 ■ 自然界のつり合い ■ 地球温暖化

日光のあたり方と植物の育ち方の関係、森林のようす、植物のすみわけ、植物群落に関する知識、食物連鎖に代表される生物どうしの関係、地球温暖化についてなど、光合成を行う植物の生態や、地球の生態系について学習していきます。

覚えるべき事項が多く、関係性や仕組みを理解すべき項目も多く含まれます。まずは食物連鎖や森林に関する知識、地球温暖化の仕組みやその影響について答えることができるようにしていきます。

第2回

国語

● 説明文・論説文(7)／細部分析

学習内容 ■ 細部分析

原因と結果のつながりを丁寧にたどりながら、論理的に本文の情報を整理することを目指します。

● 表現技法②／慣用句①

学習内容 ■ さまざまな表現技法に触れる ■ 慣用句を身につける

倒置法・体言止め・省略法・対句法・反復法・呼びかけ・音数と音韻について学びます。そのうえで、文章中からこれらの表現技法を見つけ、その効果について説明できるようになることを目指します。

また、『漢字とことば』では、「体の一部を表す言葉を使った慣用句」を身につけます。

算数

● 平面図形と比 ―相似の利用―

学習内容 ■ 三角形の相似～クロス型とピラミッド型～ ■ 相似の利用

第1回に続き、『予習シリーズ夏期必修編』で学習した「相似」の復習です。

「三角形の相似～クロス型とピラミッド型～」三角形の相似パターンで最も有名な「クロス型」と「ピラミッド型」の問題を学習します。夏期講習会では線分比や線分の長さを求める問題のみを学習しましたが、第1回で学習した「比の積・比の商」を用いて、面積比についても学習します。

「相似の利用」平面図形と比の問題を解くうえで最も大切なのは、複合図形の中から「クロス型」や「ピラミッド型」のような代表的な相似パターンを発見することです。長方形・平行四辺形といった四角形は対辺が平行ですから、直線をかき入れると、相似な図形が見つかります。図形の特徴を理解し、相似な図形を自ら発見できるようになるためにもさまざまな問題に触れることが大切です。

社会

● 古墳時代・飛鳥時代

学習内容 ■ 古墳時代の文化とヤマト政権 ■ 聖徳太子と飛鳥文化 ■ 大化の改新

古墳とは何か？なぜつくられたか？を理解し、前方後円墳の分布図を使って古墳がたくさんつくられた地域と、そうではない地域の違いを学習します。さらに、統一国家としてのヤマト政権誕生後の動きを、朝鮮半島進出や「倭の五王」に関する史料から理解しましょう。また、この單元では「稲荷山古墳出土の鉄剣」から当時のヤマト政権の広がりについても考えます。

ヤマト政権内での権力闘争を経て聖徳太子が登場します。聖徳太子の政治や聖徳太子らが築いた我が国初の仏教文化である飛鳥文化についての知識を、しっかりと整理していきます。

大化の改新以降の時代をヤマト政権と朝鮮半島の関係などから学習し、さらに7世紀後半の白鳳文化について知識の定着を目指します。

理科

● てこ・滑車・輪軸

学習内容 ■ てこのつり合い ■ 滑車 ■ 輪軸

小4と小5前期で学習したてこを復習してから滑車の仕組みと輪軸について学習します。小5前期で輪軸の力のつり合い方を学習しています。今回、輪軸についてはひもの移動距離を中心に学習します。

ただし、学習の中心は滑車です。まずは固定して使用する定滑車と、自由に動くことができる状態で使用する動滑車の仕組みを理解することが重要です。動滑車と定滑車の組み合わせ滑車では、ひもにかかる力を図の中に正確に書き込む練習を積むと実力の向上につながります。

国語

● 物語・小説(8)／性格と人物像

学習内容 ■ 性格と人物像

特徴的な言動から、登場人物の「性格」や「人物像」を読み取ることを目指します。また、さまざまな「性格を表す言葉(性格語)」を身につけます。

● 表現技法③／三字の熟語

学習内容 ■ 特殊な表現技法に触れる
■ 三字熟語を身につける

象徴・反語・逆説・臨場感について学びます。いずれも文章でしばしば用いられるため、読解力に関わる重要な表現技法です。

また、『漢字とことば』では「三字の熟語」を扱います。「覚えておきたい三字の熟語」に一覧化されているものを、地道に身につけましょう。

算数

● 平面図形と比 一辺の比と面積比―

学習内容 ■ 高さが等しい図形(復習)
■ 底辺の比と高さの比
■ 共通の角を持つ三角形の面積比

『予習シリーズ夏期必修編』で学習した「底辺の比と面積比」の復習に加え、そこから派生する応用問題に取り組みます。

[高さが等しい図形]高さが等しい三角形や四角形の面積比は、底辺の長さの合計(上底+下底)の比と等しくなります。この関係を用いて、高さが等しい図形どうしであれば瞬時に面積比を求められるようになることが目標です。

[底辺の比と高さの比]第1回の「比の積・比の商」の考え方を平面図形でも応用します。高さが異なる図形であっても、底辺の比と高さの比がわかれば面積を比べることができることを学習します。

[共通の角を持つ三角形の面積比]1つの角を共有する大小の三角形の面積比を求める方法を学習します。平面図形と比の問題において、面積の求積をする際に最も多く利用する解法ツールの1つです。必ず身につけましょう。

社会

● 奈良時代

学習内容 ■ 律令政治
■ 平城京と聖武天皇
■ 遣唐使と天平文化

律令制度について「しくみ」「土地制度」を中心に学習します。さらに農民への大きな負担を踏まえて、「防人の歌」から当時の農民の苦しい生活の様子について考えましょう。

平城京の規模について略図(基盤目状の都市計画および外京)を使って学習します。さらに聖武天皇の政治を、土地制度(墾田永年私財法)や仏教に結び付けて確認しましょう。

奈良時代の天平文化を歴史書(古事記・日本書紀)やその他の書物(風土記)・文学(万葉集)、東大寺や正倉院などの建築物、そして東大寺の大仏や正倉院宝物などを学習するとともに、当時の制度や文化に大きな影響を与えた遣唐使について理解を深めます。

理科

● 水溶液の中和

学習内容 ■ 水溶液の分類
■ 酸・アルカリ水溶液の中和
■ 中和の計算

水溶液の色、におい、溶質、液性のそれぞれによる分類について学んでから、中和の仕組みと計算方法について学習していきます。化学変化というくくりで考えれば、中和は小5前期で学習した気体の単元と類似します。

中和の計算問題を解き進めるためには、指示薬についての知識と、溶質が固体であるのかどうかの正確な知識が必要です。まずはこの2点をしっかりと覚えておくうえで、過不足なく反応する量を読み取る練習をしましょう。特に、塩酸と水酸化ナトリウム水溶液の中和反応は重要です。

国語

● 詩／詩を読み解く

学習内容 ■ 詩を読み解く

まずは詩に関する基礎知識を身につけましょう。特に「詩の種類」を正確に分類できるようにすることが大切です。そのうえで、一つひとつの表現を吟味しながら、詩が描く情景を丁寧にイメージする練習を重ねましょう。

● 手紙文の約束事／四字の熟語

学習内容 ■ 手紙文に関する知識を理解する
■ 四字熟語を身につける

手紙文については、「前文・本文・末文・後付」という構成や、「頭語・結語」「時候の挨拶」といった知識を身につけましょう。

また、『漢字とことば』では「四字熟語」を扱います。言葉と意味を結び付けるとともに、漢字で正確に書けるように練習を重ねましょう。

算数

● つるかめ算の応用と年令算

学習内容 ■ つるかめ算の応用・いもづる算
■ 年令算

小4で学習したつるかめ算では、合計数からその内訳を求める問題を学習しましたが、今回は合計数のわからない問題(いもづる算や不定方程式といいます)を学習します。

[つるかめ算の応用・いもづる算]合計数が確定しないことから、解が複数考えられる問題を学習します。小4では計算や面積図を用いて答えが1つに定まりましたが、複数の答えが求まることから丁寧に調べ上げる場合の数の要素が伴います。中学入試ではよく出題されるテーマの1つですから、順序立てて正確に答えが求められるように指導していきます。

[年令算]和と差の文章題と比が融合した問題を学習します。第1回で学習した「比例式」を用いて解くのが有効な手段となります。式を立て、その式を正確に処理して解を求められるようにしましょう。

社会

● 平安時代

学習内容 ■ 平安時代の政治(摂関政治・院政・平氏政権)
■ 武士のおこり
■ 天平文化

平安京遷都にあたり、律令制崩壊の理由から桓武天皇の政治までの時代の流れをつかみます。

さらに藤原氏の台頭から院政、そして平氏政権の成立までの時代の流れを各政権が確立した理由とともに押さえます。さらに、地方にも目を向け、武士誕生の理由から成長までの流れを確認します。

加えて、平安時代の文化を大きく2つに分けて学習します。平安時代初期の文化は仏教(天台宗・真言宗)という目線から、国風文化は唐文化の吸収・発展(かな文字は漢字から誕生)という目線から考えることがポイントです。また、浄土信仰の影響を中央(京都)の平等院鳳凰堂、地方(平泉)の中尊寺金堂から理解していきます。

理科

● ヒトと動物の消化・吸収

学習内容 ■ 食物と養分
■ 消化
■ 養分の吸収
■ 動物の消化器官

食物に含まれる養分について学習してから、ヒトと動物の消化と吸収について細かく学習していきます。小4で簡単に学習した消化器官についての内容を、深く広く掘り下げていきます。

動物の消化についても学習しますが、ヒトの消化器官や養分の吸収方法についてしっかり学習すれば対応できるので、ヒトの消化について理解を深めることが大切です。まずは消化管を口から順に答えることができるようにしっかりと暗記し、そのうえで、各部分で行われていることについて確認していくとよいでしょう。

国語

● 物語・小説(9)／表現を読む

学習内容 ■ 表現を読む

「比喩表現」の種類と、その効果について学びます。こうした「表現」に関する出題は、近年の中学入試における頻出パターンの一つです。特徴や効果を説明する際の言い回しも丁寧に身につけましょう。

● 単語の学習① 助動詞／和語②

学習内容 ■ 助動詞について知る
■ 和語を身につける

「助動詞」については、「ない」「だ」「まい」を扱います。いずれも意味・用法を覚えながら、文中での使われ方を見分ける練習を重ねます。また、『漢字とことば』では、第1回に続けて「和語」を学習します。

算数

● 速さと比

学習内容 ■ 速さと比例・反比例
■ 比を利用する速さの問題

これまでに学習してきた速さの問題に比が伴う場合を考えます。[速さと比例・反比例]「速さ×時間＝道のり」という関係のもとに、速さ・時間・道のりのいずれか1つが一定の場合を考えます。速さが一定であれば、時間が2倍、3倍、……、となると、進む道のりも2倍、3倍、……、となるので、道のりは時間に比例することがわかります。同様に、時間が一定の場合の速さと道のりの関係、道のりが一定の場合の速さと時間の関係について考えます。速さの問題を解くうえで基本方針となる考え方です。

[比を利用する速さの問題]速さの比・時間の比・道のりの比の3量関係を利用して、速さと比の発展問題を学習します。山道の上り下りをする問題はよく出題されるので、しっかりと理解を深めておきましょう。

社会

● 鎌倉時代

学習内容 ■ 源頼朝と鎌倉幕府 ■ 執権政治と元寇
■ 鎌倉文化

平氏政権の滅亡から鎌倉幕府の成立までの時代の流れを学習します。まず、鎌倉幕府の特色を「封建制度」「当時の武士の生活」「政治のしくみ」などさまざまな角度から理解しましょう。

源氏三代の滅亡後、鎌倉幕府の執権政治の様子を「承久の乱」や「御成敗式目」を通してイメージできるようにします。さらに「御成敗式目」の内容から当時の女性の地位などを考えていきます。

元寇の内容を学習するとともに、再度「封建制度」を振り返り、鎌倉幕府衰退の理由を考えてみましょう。

鎌倉時代の産業については「二毛作」を軸に学習します。さらに武士の台頭から地頭の荘園侵略まで扱います。鎌倉時代の文化に武士の存在が影響していることを理解するとともに、戦乱・自然災害に苦しむ庶民の生活に広まった新しい仏教の特色を押さえます。

理科

● ヒトと動物の呼吸・循環

学習内容 ■ ヒトの呼吸
■ ヒトの心臓と血管
■ 血液の循環
■ 排出器官
■ いろいろな動物の呼吸と血液循環

小4で学習した呼吸と血液の流れのほか、排出器官についても詳しく学習していきます。動物の呼吸器官や血液の循環についても学習しますが、まずはヒトについての理解を深めることが重要です。

呼吸については肺を膨らませたり縮めたりする仕組みが重要です。肋骨と横隔膜の役割についてしっかりと確認してください。血液の循環については、心臓から出た血液が進む経路を把握することが重要です。図をかりて血液の流れを確認しながら特徴を捉えていきましょう。

国語

● 説明文・論説文(8)／データや情報を読む

学習内容 ■ データや情報を読む

実験や調査の結果を用いた文章を扱います。データを読み取り、そこから筆者が主張しようとしていることを捉える練習を重ねましょう。

● 単語の学習② 助詞／慣用句②

学習内容 ■ 助詞について知る
■ 慣用句を身につける

「助詞」については、「か」「ながら」「でも」「ばかり」を扱います。いずれも意味・用法が複数あるので、「別の言葉に置きかえる」「前後の関係を考える」といった方法で見分けるようにすると良いでしょう。

また、『漢字とことば』では、「動物に関連する言葉を使った慣用句」を身につけていきます。

算数

● 旅人算と比

学習内容 ■ 旅人算と比 ■ 折り返しの旅人算と比
■ 速さのグラフと比

第6回で学習した、速さ・時間・道のりの比例・反比例関係のもとに、旅人算と比の問題を学習します。中学入試で出題される速さの問題の多くは、旅人算と比の問題が中心です。

[旅人算と比・折り返しの旅人算]第6回の速さの問題とは異なり、登場人物が2人以上になるので、注目する点が変わります。たとえば、出会うまでや追い越すまでに進んだ道のりの比は速さの比と等しくなります。また、同じ道のりを進む場合、かかる時間は速さの逆比になります。このような比の関係を理解することがはじめの目標です。

[速さのグラフと比]グラフ上で2人がすれ違う時間や道のりを求める場合は、普通に旅人算として計算するよりも、比を利用することでその処理を簡略化できます。速さとグラフの問題を解くうえで必ず身につけておきたい解法技術を学習します。

社会

● 室町時代

学習内容 ■ 建武の新政と南北朝の争い ■ 室町幕府
■ 室町時代の産業と文化

鎌倉幕府の滅亡から建武の新政、そして南北朝の内乱まで一連の出来事の流れを学習します。

南北朝の内乱の中で誕生した室町幕府のしくみを確認し、幕府の全盛期を築いた足利義満の政治についても考えていきます。さらに幕府が衰え戦国時代へ進んだきっかけとなった足利義満の政治についても押さえます。

室町時代の外交では「中国(日明貿易)」「朝鮮」「琉球」と3つの切り口から見ていきます。さらに当時、朝鮮や中国から輸入された綿花が日本の世の中に与えた影響も重要です。二毛作が広まり農業や商工業の発達が見られた室町時代では、それぞれの産業について学習するとともに、村の自治や一揆について考えます。室町時代の文化は義満の時代を中心とした「北山文化」と義政の時代を中心とした「東山文化」に分けて覚えましょう。特に東山文化では「書院造」と現在の日本建築を比べることで理解が深まります。

理科

● 物の燃焼

学習内容 ■ 物の燃焼
■ いろいろな物の燃え方
■ 金属の燃え方
■ 金属のさび

物の燃焼・消火の条件、ろうそく・アルコールランプ・ガスバーナーの燃焼のようす、木の蒸し焼きなどを学習してから、金属の酸化・還元について学びます。実験方法や注意点をしっかりと説明できるようにしておくことが大切です。

特に重要なのが、ろうそくの燃焼に関する知識問題と金属の燃焼の計算問題です。ろうそくの燃焼については、外炎、内炎、炎心の特徴を正確に答えることができるようにしておきましょう。金属の燃焼の計算問題については、小5前期に学習した気体の発生の問題や、後期第3回で学習する中和の問題と同様に、過不足なく反応する量に注目して解き進めることが重要です。

国語

● 短歌／短歌を読み解く

学習内容 ■ 短歌を読み解く

はじめに短歌に関する基礎知識を身につけましょう。特に「句切れ」「枕詞」について理解することが大切です。そのうえでさまざまな作品に触れ、まずは「慣れる」ことが習得への近道です。

● 文語的表現①／同音異字・同音異義語

学習内容 ■ 歴史的仮名遣いについて理解する
■ 文語的表現で使われる助動詞について知る
■ 同音異字・同音異義語を身につける

「文語的表現①」では、はじめに「歴史的仮名遣い」における表記のルールを学びます。また、「む」「ず」「ぬ」「けり」など、現代語の感覚では意味が捉えにくい言葉にも触れます。

『漢字とことば』で学習する「同音異字・同音異義語」は、単元の中でも難度の高い語彙を扱います。文脈に応じて正確に書き分けられるように練習を重ねましょう。

算数

● 平面図形と比 ―まとめと応用―

学習内容 ■ 相似の応用
■ 辺の比と面積比～応用公式～
■ 正六角形の分割

平面図形と比の実践的な解法技術を学習する回です。線分比を求める方法は①相似を発見する(相似をつくる)②面積比から求める、の大きく2つです。その2つの方法について、より解法の技術を膨らませていきます。

〔相似の応用〕前述の①について学習します。相似に注目して線分比を求めようとしても、そもそも相似な図形が見つからない場合もあります。その際に用いるのが「補助線」です。補助線の引き方に関しても、図形の外側に付け足す場合や、図形の内部に小さな相似をつくる場合の2通りがあります。

〔辺の比と面積比～応用公式～〕前述の②を学習します。中学数学で学習する、メネラウスの定理やチェバの定理を用いて解くことができる三角形と比の問題を扱います。中学入試ではそれらの定理の丸暗記ではなく、相似をつくったり、面積比に注目したりといった、より論理的な解法を学習します。

社会

● 安土・桃山時代

学習内容 ■ 戦国時代とヨーロッパ人の来航 ■ 織田信長
■ 豊臣秀吉 ■ 桃山文化

主な戦国大名を学習するとともに、下剋上を防ぐための戦国大名の政策と「分国法(家法)」や「城下町」について確認します。

ヨーロッパ人の来航と「鉄砲」「キリスト教」の伝来が日本に与えた影響を考えてみましょう。特に「鉄砲」については「戦法(一騎打ち→集団)」の変化や「築城(山城→平城)」の変化を捉えることが大切です。

天下統一を目指し戦い続けた織田信長については「桶狭間の戦い」で始まり「本能寺の変」で亡くなるまでの戦いの歴史を中心に学習します。

豊臣秀吉については天下統一に向けての政策(太閤検地・刀狩)が重要なポイントです。さらに統一後の「朝鮮出兵と陶工の来日」まで学習範囲を広げます。

桃山文化は仏教文化の薄れた豪華で雄大な文化であることを、城や障壁画などを通して学習します。

理科

● ばね・浮力・圧力

学習内容 ■ ばね
■ 浮力
■ 圧力

力のつり合いをテーマとしてばね・浮力・圧力について学習していきます。ばねは小4で学習した内容を比を使って復習します。

最も重要な単元は浮力です。浮力の大きさは物体が押しのけた液体や気体の重さと等しいというアルキメデスの原理を利用した計算方法を学びます。重さと体積、密度といったさまざまな要素が出てきます。計算した答えがどの要素なのかわからなくなってしまうことが多いので、単位をつけたり、ことばを添えたりしながら解くとよいでしょう。なお、圧力の学習の中で物体にはたらく圧力の差が浮力につながることにについてもふれていきます。アルキメデスの原理の証明となるので仕組みについて考えてみるとよいでしょう。

国語

● 俳句／俳句を読み解く

学習内容 ■ 俳句を読み解く

はじめに俳句に関する基礎知識を身につけましょう。特に「季語」「切れ字」について理解することが大切です。季節感をイメージしながら、さまざまな作品を読み味わいましょう。

● 文語的表現②／同訓異字

学習内容 ■ 助詞「ば」の用法について理解する
■ さまざまな「打ち消し表現」に触れる
■ 同訓異字を身につける

「文語的表現②」では、はじめに助詞「ば」の用法を扱います。また、さまざまな「打ち消し表現」のパターンに触れ、文語的な言い回しに慣れていきます。

『漢字とことば』で学習する「同訓異字」は、同音異義語と同様に、意味の違いを理解しながら、丁寧に覚えていきましょう。

算数

● 図形の移動

学習内容 ■ 多角形と円の転がり移動(復習)
■ おうぎ形の転がり移動
■ 図形の平行移動

小5上で学習した多角形・円の転がりの問題の復習に加え、おうぎ形の転がりに関する問題や、図形の平行移動の問題を学習します。

〔おうぎ形の転がり移動〕おうぎ形が直線上をすべらずに転がるときの動き方を考えます。おうぎ形の弧が直線と接している間は、おうぎ形の中心は直線と平行にまっすぐ移動します。おうぎ形となると、その動きを想像するのは困難ですが、おうぎ形は円の一部分なわけですから、円の動きを想像すると当たり前のことといえます。動き方の仕組みに加え、自ら丁寧に作図できるように指導していきます。

〔図形の平行移動〕2つの図形が一定の割合で重なり合っていくとき、辺や頂点どうしが重なる度に、重なる図形のかたち変化します。時間ごとの重なりを丁寧に分析していく必要のある発展的なテーマです。

社会

● 江戸時代(1)

学習内容 ■ 江戸幕府の成立
■ さまざまな身分
■ 鎖国

江戸幕府の成立、しくみを確認し、さらに大名の種類、統制(「武家諸法度」および参勤交代のしくみ)などを理解します。さらに、「禁中並公家諸法度」を通して朝廷の監視についても考えてみましょう。

また、江戸時代の身分制度を学習します。特に「御触書」などに触れ百姓の生活について詳しくイメージできるようにします。鎖国について、「鎖国までの流れ」「鎖国中の海外への窓口(長崎・対馬・薩摩・松前)」「鎖国の影響」と3つの切り口からみていきます。

理科

● 流水と地層

学習内容 ■ 流水のはたらき
■ 地層
■ 堆積岩
■ 化石

小4で学習した川がつくる地形、地層、化石について詳しく学習するほか、堆積岩についても学びます。

地層中の堆積物の様子から、地層ができた当時の海面の上下の変化や土地の隆起沈降の様子がわかったり、内部に含まれる化石から地層ができた時期や環境がわかったりします。小4のときに暗記した事項について、しっかりと仕組みまで理解していくことが重要です。また、複数地点で行ったボーリング調査で得られる地質柱状図から、大地の傾きを考察する問題はテストで差がつきます。しっかりと練習しておきましょう。

国語

● 随筆文(5)／経験と感想③

学習内容 ■ 経験と感想③

「文学的随筆文」を扱います。「経験と感想を読み分ける」という基本的な読み方を復習したうえで、上巻の時よりも一段階高度な「大人の思い」に触れていきます。

● 文節と文節の関係① 主語・述語・修飾語／外来語

学習内容 ■ 主語・述語関係／修飾・被修飾関係を読み取る
■ 外来語を身につける

主語・述語・修飾語に関する知識を総復習します。文節同士の関係を正確に見分けられるようにしていきます。

また、『漢字とことば』では「外来語」を扱います。日常生活でも多く耳にする語彙を中心に、その意味を身につけていきましょう。

算数

● 仕事に関する問題

学習内容 ■ 仕事算
■ ニュートン算

ある仕事をするまでにかかる時間を求める問題を学習します。「仕事算」という特別な名称がありますが、「1日あたりの仕事量(速さ)×かかる日数(時間)=全体の仕事量(道のり)」が成り立つように、根本は速さの問題とわかりません。よって、速さの比の問題と類似した解き方を学習します。

【仕事算】①1日あたりの仕事量の比を求める、②全体の仕事量を求める、この2点が完了すればあとは問題にしたがって値を求めるだけです。この一連の流れを身につけましょう。

【ニュートン算】こちらも仕事算の一種です。たとえば、池の中の水をポンプで組み出す一方で、同時に水が湧き出てしまうように、「邪魔者のいる仕事算」といえます。こちらも仕事算と同様の解法が有効です。

社会

● 江戸時代(2)

学習内容 ■ 徳川綱吉の政治・新井白石の政治
■ 江戸時代の三大改革
■ 江戸時代の学問の発達

武断政治から文治政治への移りを5代将軍徳川綱吉の政治を通して学習しましょう。さらに、新井白石の政治について、綱吉の時代と比較しながら理解を深めます。

江戸時代の「三大改革(享保・寛政・天保)」の学習では「田沼意次の政治」や、各政治に影響を与えた「天明のききん」・「大塩平八郎の乱」まで含めて確認していきます。さらに「一揆」や「打ちこわし」については「からかさ連判状」や「洪染一揆」に関する内容を扱います。

江戸時代の学問については「藩校」や「寺子屋」にはじまり、さまざまな教育機関について確認していくとともに、江戸時代の人々に影響を与えた学問(国学や蘭学)についても取り扱います。

理科

● 光と音

学習内容 ■ 光の性質
■ 面の明るさ
■ 光と鏡
■ 光とつづレンズ
■ 音

光・音ともに小4で基礎を学習しています。新たに光の分散や光の三原色、色の三原色などを学習してから、光の反射・屈折、モノコード、音の伝わる速さについて学びます。

鏡の反射、とつレンズ、音の計算問題については小4で学習した内容よりも特に詳しく学習します。とつレンズに関しては、特殊な進み方をする「光の進み方のルール」をしっかりと覚えてからでなければ作図することができませんので、確実にルールを覚えるようにしましょう。苦手に感じる場合は小4の復習をすることをお勧めします。

国語

● 随筆文(6)／意見と理由③

学習内容 ■ 意見と理由③

「説明的随筆文」を扱います。「理由(=経験・事実)と意見を読み分ける」という基本的な読み方を復習したうえで、上巻の時よりも一段階高度な「大人の理屈」に触れていきます。

● 文節と文節の関係② 分けて〈関係〉を考える／ことわざ

学習内容 ■ 文を〈大きな意味のまとまり〉に分ける
■ ことわざを身につける

「分けて〈関係〉を考える」というテーマで、長く複雑な文でも、文節同士の関係に着目することで、内容を正確に捉える練習を重ねます。

また、『漢字とことば』で学習する「ことわざ」は、単元の中でも難度の高いものを中心に扱います。

算数

● 水深の変化と比

学習内容 ■ 底面積の比・深さの比・水の体積の比
■ 物体をしずめる問題

これまでに学習した水量に関する問題と比が融合した内容を学習します。

【底面積の比・深さの比・水の体積の比】底面積×高さ=水の体積、が成り立つとき、その3量の比の関係を学習します。第1回で学習した「比の積・比の商」の考え方をもとにした問題です。平面図形と比で学習した「底辺の比×高さの比=面積の比」、速さと比で学習した「速さの比×時間の比=道のりの比」などと考え方は同じです。

【物体をしずめる問題】夏期講習会でも同じテーマの学習を一度していますから、その復習です。物体をしずめる問題で重要なことは①「水の体積」に注目すること、②平面化した図をかくことです。夏期講習会の復習に加え、比を用いて効率よく解く方法も指導します。

社会

● 江戸時代(3)

学習内容 ■ 江戸時代の産業
■ 江戸時代の都市と交通
■ 江戸時代の文化

江戸時代の各産業の発達を学習します。農業では、直接年貢とかわかることから新田開発が進められたことや、農具・肥料の発達が重要なポイントです。農具に関しては「名前-図-役割」を結び付けて理解します。肥料では金肥(ほしか・油かす)を商品作物や九十九里浜の地引網などと結び付けて理解を深めましょう。工業では「問屋制家内工業」から「工場制手工業」への発展を「分業」をキーワードに生産の増大の理由などを考えます。商業では「株仲間」や貨幣経済の発達から「両替商」などを学習し、さらに三井高利の越後屋の商法まで確認します。

交通は海上交通(西廻り航路・東廻り航路など)と陸上交通(五街道)を中心に見ていきます。

文化は「元禄文化」と「化政文化」に分け、図版などを使いながら覚えるようにしましょう。

理科

● 火山と地震

学習内容 ■ 地球のつくりと火山
■ 火山の噴火
■ 火成岩
■ 地震

地球内部のつくり、火山の形や噴火のようす、火成岩の特徴や含まれる鉱物、地震の仕組みなどについて学習します。ほとんどの項目が新出の内容です。

火山の噴火の仕方や火山の形については、「なぜそうなのか」を考えながら理解を深めることが重要です。火山の噴火についてはマグマに含まれる水に、形については火山を作ったマグマの粘り気に注目して考えてみるとよいでしょう。地震の計算問題については初期微動継続時間と震源からの距離が比例関係になっていることが問題を解く糸口になります。押さえるべき知識の量が多い回であるからこそ、仕組みについてしっかりと考えてみるようにしてください。

国語

● 物語・小説(10)／主題

学習内容 ■ 主題

「寓話・ファンタジー」を扱います。文章展開を正確につかんだ後、改めて文章全体を大きく見渡し、「何が言いたい作品なのか＝主題」を捉えることを学びます。

● 文と文の関係① 接続関係1／類義語

学習内容 ■ 七つの接続関係を使いこなす
■ 類義語を身につける

「順接」「逆接」「並立」「添加」「説明」「選択」「転換」という七つの接続関係を理解し、文と文を適切な接続語で結ぶ練習を重ねます。
『漢字とことば』で扱う「類義語」は、「好きだ」「嫌だ」「驚く」といった意味ごとのグループにまとめられる言葉について学び、お子様の語彙・表現の幅を広げていきます。

算数

● 整数の分解と構成

学習内容 ■ 素因数分解と約数の個数 ■ 最大公約数と最小公倍数
■ 既約分数の個数 ■ わり切れる回数

夏期講習会で学習した「素因数分解」の復習に加え、整数の仕組みに関して理解を深めます。このテーマを学習することで、整数に関する問題の解法知識はひと通り学習し終えることになります。

〔素因数分解と約数の個数〕素因数分解を用いた約数の個数の求め方について、その意味を正確に理解するようにしましょう。約数の個数を求めるだけでなく、特定の倍数の約数の個数を求めたり、約数の総和を求めたりといったように、入試で出題される問題は多岐にわたります。そのような問題を攻略するために必要なことは、公式の意味を正確に理解していることです。

〔既約分数の個数〕ここでは、数を集まりとして捉える解法と、数を周期性のあるものとして捉える解法の2通りを学習します。どちらも数の問題を攻略するために必要な考え方です。

社会

● 江戸時代(4)

学習内容 ■ 外国船の来航
■ 黒船の来航と開国
■ 開国の影響と倒幕運動

江戸時代後半の外交史はロシアの接近に始まり異国船打払令、モリソン号事件と続きます。さらにペリー(黒船)来航に始まる幕末の外交は開国、特に貿易の開始と不平等条約が与えた影響、そして「大政奉還」への時代の流れを中心に学習します。ここでは既習(第11回)の「国学」が「尊王攘夷」に影響を与えたことを確認しておくようにでしょう。

理科

● 生命の誕生

学習内容 ■ いろいろな動物のおすとめす
■ 動物のふえ方
■ 産卵数(産子数)と生存率
■ ヒトの誕生

さまざまな動物の雌雄の見た目の違いや受精方法・育ち方によるセクツイ動物の分類方法、メダカの誕生、産卵数と生存率などについて学習してからヒトの誕生について学びます。特にメダカについての事項とセクツイ動物の分類は頻出なのでしっかりと理解しておきましょう。

この回で最も重要なのはヒトの誕生についてです。この単元は、数字をはじめとして正確な知識を身につける必要があります。生殖に関係する器官の名前・はたらきや精子・卵子の大きさ、受精後の胎児の成長の仕方など、しっかりと答えることができるようにしましょう。

国語

● 説明文・論説文(9)／主張と根拠

学習内容 ■ 主張と根拠

考えの裏付けとなる「根拠・理由」とともに、筆者の「主張・意見＝要旨」を読み取ることを学びます。

● 文と文の関係② 接続関係2／対義語

学習内容 ■ 七つの接続関係を使いこなす
■ 対義語を身につける

第13回に続けて、文章の中で「七つの接続関係」を正確に使い分ける練習を重ねます。
また、『漢字とことば』で扱う「対義語」は、漢語だけでなく外来語についても、対義関係にある語彙を身につけていきます。

算数

● 立方体・直方体の切断

学習内容 ■ 切り口の形
■ 切断後の立体の求積

立体を切断したときの切り口の形や、切断後の立体の体積を求める問題を学習します。新たに学習する単元の中では終盤の最も濃いテーマの1つでしょう。

〔切り口の形〕ここでは正しい切断面の作図方法を学習します。イメージするために、粘土や豆腐を切ってみるという話も耳にしますが、実際は紙面上で再現できなくては意味がありません。切断の手順は、①同じ面上の2点を結ぶ、②平行な面に平行な切り口の線を引く、③辺を延長して①②を利用する、です。その流れにしたがって、まずは何度も練習してみましょう。経験を積み、慣れることも重要です。

〔切断後の立体の求積〕角柱を斜めに切った立体の求積、辺を延長して角錐をつくる方法など、さまざまな立体の求積方法を学習します。

社会

● 明治時代(1)

学習内容 ■ 明治維新
■ 文明開化
■ 自由民権運動と憲法発布

明治政府が目指した「中央集権国家の建設」を「版籍奉還」「廃藩置県」「徴兵令」「地租改正」「殖産興業」などの切り口から考えていきます。

「文明開化」といわれる生活の変化を「制度(郵便制度・太陽暦など)」「教育」を通して学習します。さらに「鉄道開通」や「ガス灯の設置」なども確認します。

明治政府(藩閥政治)への不満を「農民から」「士族から」の目線と考え、「自由民権運動」への理解を深めましょう。さらに国会開設に向けて「内閣制度」→「憲法発布」→「選挙」→「国会開設」と流れを押さえて学習を進めます。憲法発布については「ベルツの日記」、選挙については「北海道・沖縄の選挙権」を通して理解を深めます。

理科

● 電流と抵抗

学習内容 ■ 乾電池のつなぎ方 ■ 豆電球のつなぎ方
■ スイッチのある回路 ■ 電熱線と電気抵抗
■ 電熱線と発熱

豆電球や乾電池を直列・並列につないだときの電流の大きさの変化について学習してから、回路全体に流れる電流の大きさと抵抗の大きさの関係や、数値の求め方、さらに電熱線の発熱について学びます。

具体的には、電圧が等しいとき、回路全体の抵抗の大きさと電流の大きさは反比例の関係になります。よって、回路全体の抵抗の大きさがわからないときでも、流れる電流の大きさを求めることで抵抗の大きさを判断することができます。これをしっかりと理解することが重要です。発熱については、表やグラフから関係性や規則を理解する力が試されます。数値の変化に注目し、丁寧に計算する練習をしていきましょう。

国語

● 物語・小説(11)／物語・小説の読解総復習

学習内容 ■ 物語・小説の読解総復習

「場面」「気持ち」「人物像」「心情変化」「主題」といった、ここまで学習してきた物語・小説の「読み方」をまとめ、自分なりの読み方の完成を目指します。

● 文と文の関係③ 因果関係／故事成語

学習内容 ■ 因果関係を読み取る
■ 故事成語を身につける

「順接の言葉」「理由説明の言葉」に着目することで、文章中の因果関係を正確に捉える練習を重ねます。

また、『漢字とことば』では「故事成語」について学習します。言葉の元となったエピソードとあわせて、意味を覚えていきましょう。

算数

● 濃さと比

学習内容 ■ 濃さと比例・反比例
■ 食塩水の混合と比

5年上で学習した食塩水の濃さの問題と比が融合します。

「濃さと比例・反比例」速さの問題の「速さ×時間＝道のり」、水量の問題の「底面積×高さ＝水の体積」と同様に、食塩水の問題においても、「食塩水の重さ×濃さ＝食塩の重さ」が成り立ちます。このことから、食塩水の重さ、濃さ、食塩の重さのいずれかが一定である場合の残り2量の比の関係は、速さや水量の問題と同じように、比例・反比例の関係が成り立ちます。

「食塩水の混合と比」食塩水の重さ・濃さ・食塩の重さが、具体的な数ではなく、比で与えられた場合の混合に関する問題を扱います。食塩水どうしの混合では、面積図を用いる解法を学習済みですが、今回は面積図をより簡略化した「てんびん図」を用いた解法を学習します。

社会

● 明治時代(2)

学習内容 ■ 明治時代の外交と条約改正 ■ 日清戦争
■ 日露戦争と韓国併合 ■ 近代産業の発達

明治時代の外交を「明治初期の外交」「日清戦争」「日露戦争」と3つに分けて学習します。「初期の外交」では「岩倉使節団」「欧化政策(鹿鳴館)」「ノルマントン号事件」など条約改正の苦勞、「日清戦争」「日露戦争」では戦争への流れや主な戦場、そして講和条約など似た事項も見られることからそれぞれについて相違点を押さえていきます。また、それらの戦争から「韓国併合」までの流れも重要です。

明治時代に起こった産業革命を「軽工業の発達」と「重工業の発達」に分けて、さらに日清戦争で得た賠償金で建設された八幡製鉄所について確認しましょう。ここでは明治時代の貿易の資料や「日本の公害の原点」ともいわれる「足尾銅山鉱毒事件」を詳しく取り上げます。

理科

● 電流と磁界

学習内容 ■ 方位磁針のふれ方と電流
■ 磁針におよぼす力の大きさ
■ 電磁石

電流が流れている導線のまわりには磁界の向きや大きさ、さらにそれらと電流の大きさの関係について学習した後、電磁石のしくみやはたらきについてさまざまな例を用いて学習していきます。この回の内容は、基本的な回路を流れる電流の大きさを求めることができることが前提です。しっかりと復習してから学習に臨みましょう。

身につけた判別方法や解法をただ使うだけではなく、これらに応用する問題が多数出題されます。頭の中だけで考えるのではなく、実際に手を使って判断したり、図の中にわかった情報をかき込んだりしながら練習をすると効果的です。特に電磁石を使っているブザーやモーターの仕組みは複雑なので、電流の向きや磁界の向きなどを丁寧に判断しながら学習を進めるようにしていくとよいでしょう。

国語

● 説明文・論説文(10)／説明文・論説文の読解総復習

学習内容 ■ 説明文・論説文の読解総復習

「話題」「要点」「段落関係」「要旨」といった、ここまで学習してきた説明文・論説文の「読み方」をまとめ、自分なりの読み方の完成を目指します。

● 文と文の関係④ 抽象と具体／四季の言葉(秋・冬)

学習内容 ■ 抽象と具体を読み取る
■ 秋・冬にまつわる言葉

「順接の言葉」「例示の言葉」「換言の言葉」に着目することで、文章中の抽象・具体関係を正確に捉える練習を重ねます。

また、『漢字とことば』では、秋・冬の気象・植物・動物・生活にまつわる言葉を身につけていきます。

算数

● いろいろな立体の求積

学習内容 ■ 投影図 ■ くりぬきの問題 ■ 回転体と比

第14回では立体の切断をテーマに学習しましたが、第17回では、立体を平面で捉える投影図や、回転体と比に関する問題を学習します。

「投影図」立体を正面・真上・真横から見て、平面化した図を投影図といいます。立体を平面で捉える考え方は、第14回の立体の切断でも有効な手段です。線分比や線分の長さを求めるような細かな分析が必要となるときには投影図を用いる習慣づけをしましょう。

「くりぬきの問題」こちらも投影図の問題と同様に、立体の捉え方が重要です。立方体を積み上げた立体をくりぬいたときの体積・表面積を考える問題では、段ごとにスライスして真上から見た図で分析するのが有効です。

「回転体と比」角錐と円錐を学習したときにも基本的な問題は学習しましたが、より複雑な図形となった場合は、比を利用して考えるのが効率的です。その解法技術を丁寧に指導します。

社会

● 大正時代

学習内容 ■ 第一次世界大戦と戦後の世界
■ 戦中・戦後の日本の経済
■ 大正デモクラシー

第一次世界大戦ではヨーロッパ諸国の対立とアジアにおける日本の動きを軸に学習します。ヨーロッパではドイツを中心とする同盟国とイギリスを中心とする連合国との植民地問題がサラエボ事件をきっかけに大戦へ発展したこと、大戦と日本の動きについては「日英同盟」や「中国への二十一か条の要求」「三一独立運動」「五・四運動」などへの理解を深めます。

大正時代の国内の動きは「大戦景気」とその後の不景気、さらに関東大震災と「成金」について確認します。

「大正デモクラシー」といわれる民主主義を求める動きについては、「選挙権の拡大」などを含めて理解することが大切です。さらに「米騒動」や「ロシア革命」がこの運動に与えた影響についても考えてみましょう。

理科

● 太陽の動き

学習内容 ■ 太陽のようす
■ 太陽の1日の動き
■ 太陽の1年の動き
■ 日影曲線

太陽の大きさや表面のようすなどを学習してから、日本を含む世界各地の太陽の日周運動・年周運動、日影曲線について学びます。

学習するときは、観測者がどこから見ているのか、時期はいつか、といった図の設定条件を正確に把握することが大切です。日周運動を考える際には、地球が地軸を軸として自転しているため、地軸を延長したはるか先にある北極星や、北極が図中のどこにあるのかを意識することが必要です。その際に、小5前期に学習した、北極星の高度がその土地の緯度と同じ値になることも合わせて意識すると、世界各地の太陽の動きを把握しやすくなるはずです。

国語

● 随筆文(7)／随筆文の読解総復習

学習内容 ■ 随筆文の読解総復習

「『経験・事実』と『感想・意見』を読み分ける」という、ここまでで学習してきた随筆文の「読み方」をまとめ、自分なりの読み方の完成を目指します。

● 文と文の関係⑤ 換言と対比／暦の知識

学習内容 ■ 換言を読み取る ■ 対比を読み取る
■ 暦の知識を身につける

文章中に存在する「換言(前後が=)」と「対比(前後が⇔)」という関係を見抜く練習を重ねます。

また、『漢字とことば』では「暦」に関する知識を学習します。「月の異名」や「二十四節気」について覚えていきましょう。

算数

● いろいろな速さの問題

学習内容 ■ 円周上の旅人算と比 ■ 流水算と比
■ 通過算と比 ■ 時計に関する問題と比

小5上で学習した円周上の旅人算と比が融合します。さらに、夏期講習会で学習した「流水算」「時計算」「通過算」の復習に加え、それぞれに比が伴う問題を学習します。

【円周上の旅人算と比】①1周にかかる時間の逆比から速さの比を求める、②1周の道のりを比で表す、この流れは仕事算とほぼ同じです。まずはこの一連の流れを身につけましょう。

【流水算と比】夏期講習会での学習からだいぶ時間が経っていますから、静水時の速さ・川の流れの速さ・上りの速さ・下りの速さの4つの速さの関係を確認しておきましょう。比が伴う問題は、前述の円周上の旅人算と比の問題と類似した解法が有効な手段です。

【通過算と比】電柱や人のように長さのないものを通過する場合と、鉄橋やトンネルのように長さのあるものを通過する場合で、列車が進む道のりがかわります。丁寧に図をかくなどして、正確に列車が進む道のりを理解しましょう。

社会

● 昭和時代(1)

学習内容 ■ 日本大陸進出
■ 第二次世界大戦と日本
■ 戦中の暮らしと戦争の終わり

第一次世界大戦後の不景気、そして「世界恐慌」の影響を受けて大陸進出へ向かう日本の動きを学習します。さらにここでは大陸進出に向けての「財閥」と「政党」の動きを確認します。

「満州は日本の生命線」という形で大陸へ動き出した日本について、「満州事変」「国際連盟からの脱退」「五・一五事件」「二・二六事件」「日中戦争」などと続く流れを押さえます。

当時の日本での強まる戦時体制について、ドイツ・イタリアの動きと、アメリカの日本への石油の輸出禁止などを含めて学習し、太平洋戦争の全体の流れをつかみます。さらに大戦中の国民生活について、「ぜいたくは敵だ」の標語や「隣組」「学童疎開」は重要な知識になります。

理科

● 太陽と地球

学習内容 ■ 日の出と日の入りの時刻
■ 昼の長さや南中時刻
■ 地温・気温の変化

各季節で、同時に日の出を迎える地点、同時に日の入りを迎える地点について学習した後、昼の長さや1日・1年での地温・気温の変化などについて学びます。

地球が傾いたまま太陽のまわりを公転しているため、太陽による地球の照らされ方は季節によって異なります。各季節における日の出のとき、日の入りのときの地球の照らされ方について、図をかくと理解が深まるはず。まずは自分がかいてみることをおすすめします。また、経度の違いによる南中時刻の計算問題が出題されます。調べたい土地が、日本標準時子午線である東経135度よりも東にあるのか、西にあるのかを意識して問題に取り組むようにしてください。

授業カレンダー [前期]

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
2/1 (日)							
2/2 (月)							
2/3 (火)							
2/4 (水)							
2/5 (木)							
2/6 (金)							
2/7 (土)							
2/8 (日)							
2/9 (月)	○	上②					
2/10 (火)	○		上②				
2/11 (水)	○			上②			
2/12 (木)	○				上②		
2/13 (金)	○					上②	
2/14 (土)							
2/15 (日)							
2/16 (月)	○	上③					
2/17 (火)	○		上③				
2/18 (水)	○			上③			
2/19 (木)	○				上③		
2/20 (金)	○					上③	
2/21 (土)		カリキュラムテスト①②					
2/22 (日)							
2/23 (月)	○	上④					
2/24 (火)	○		上④				
2/25 (水)	○			上④			
2/26 (木)	○				上④		
2/27 (金)	○					上④	
2/28 (土)							

●小5「予習シリーズ」上巻第1回の授業は、小4の1月最終週に実施します。
●小5初回授業:2/9(月)
※校舎によって異なります。

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
3/1 (日)							
3/2 (月)	○	上⑤					
3/3 (火)	○		上⑤				
3/4 (水)	○			上⑤			
3/5 (木)	○				上⑤		
3/6 (金)	○					上⑤	
3/7 (土)		カリキュラムテスト③④					
3/8 (日)							
3/9 (月)	○	上⑥					
3/10 (火)	○		上⑥				
3/11 (水)	○			上⑥			
3/12 (木)	○				上⑥		
3/13 (金)	○					上⑥	
3/14 (土)		組分けテスト⑤					
3/15 (日)							
3/16 (月)	○	上⑦					
3/17 (火)	○		上⑦				
3/18 (水)	○			上⑦			
3/19 (木)	○				上⑦		
3/20 (金)	○					上⑦	
3/21 (土)							
3/22 (日)							
3/23 (月)							
3/24 (火)							
3/25 (水)							
3/26 (木)	講	春期講習会期間					
3/27 (金)	講						
3/28 (土)	講						
3/29 (日)	講						
3/30 (月)	講						
3/31 (火)	講						

●講習会期間は予定です。実施日は学年・校舎により異なります。

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
4/1 (水)		春期講習会期間					
4/2 (木)	講						
4/3 (金)	講						
4/4 (土)							
4/5 (日)							
4/6 (月)							
4/7 (火)							
4/8 (水)	○			上⑧			
4/9 (木)	○				上⑧		
4/10 (金)	○					上⑧	
4/11 (土)		カリキュラムテスト⑥⑦					
4/12 (日)							
4/13 (月)	○	上⑧					
4/14 (火)	○		上⑧				
4/15 (水)	○			上⑨			
4/16 (木)	○				上⑨		
4/17 (金)	○					上⑨	
4/18 (土)							
4/19 (日)							
4/20 (月)	○	上⑨					
4/21 (火)	○		上⑨				
4/22 (水)	○			上⑩			
4/23 (木)	○				上⑩		
4/24 (金)	○					上⑩	
4/25 (土)		カリキュラムテスト⑧⑨					
4/26 (日)							
4/27 (月)	○	上⑩					
4/28 (火)	○		上⑩				
4/29 (水)							
4/30 (木)							

●講習会期間は予定です。実施日は学年・校舎により異なります。
●4月初回授業:4/8(水)・4/9(木)

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
5/1 (金)							
5/2 (土)							
5/3 (日)							
5/4 (月)							
5/5 (火)							
5/6 (水)							
5/7 (木)	○				上⑪		
5/8 (金)	○					上⑪	
5/9 (土)							
5/10 (日)		組分けテスト⑩					
5/11 (月)	○	上⑪					
5/12 (火)	○		上⑪				
5/13 (水)	○			上⑪			
5/14 (木)	○				上⑫		
5/15 (金)	○					上⑫	
5/16 (土)							
5/17 (日)							
5/18 (月)	○	上⑫					
5/19 (火)	○		上⑫				
5/20 (水)	○			上⑫			
5/21 (木)	○				上⑬		
5/22 (金)	○					上⑬	
5/23 (土)		カリキュラムテスト⑪⑫					
5/24 (日)							
5/25 (月)	○	上⑬					
5/26 (火)	○		上⑬				
5/27 (水)	○			上⑬			
5/28 (木)	○				上⑭		
5/29 (金)	○					上⑭	
5/30 (土)							
5/31 (日)							

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
6/1 (月)	○	上⑭					
6/2 (火)	○		上⑭				
6/3 (水)	○			上⑭			
6/4 (木)	○				上⑮		
6/5 (金)	○					上⑮	
6/6 (土)		カリキュラムテスト⑬⑭					
6/7 (日)		全国統一小学生テスト					
6/8 (月)							
6/9 (火)							
6/10 (水)							
6/11 (木)							
6/12 (金)							
6/13 (土)		レベルアップ授業					
6/14 (日)		組分けテスト⑮					
6/15 (月)	○	上⑮					
6/16 (火)	○		上⑮				
6/17 (水)	○			上⑮			
6/18 (木)	○				上⑯		
6/19 (金)	○					上⑯	
6/20 (土)							
6/21 (日)							
6/22 (月)	○	上⑯					
6/23 (火)	○		上⑯				
6/24 (水)	○			上⑯			
6/25 (木)	○				上⑰		
6/26 (金)	○					上⑰	
6/27 (土)		カリキュラムテスト⑯⑰					
6/28 (日)							
6/29 (月)	○	上⑰					
6/30 (火)	○		上⑰				

●レベルアップ授業は組分けテストの対策補講です。

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
7/1 (水)	○			上⑰			
7/2 (木)	○				上⑱		
7/3 (金)	○					上⑱	
7/4 (土)							
7/5 (日)							
7/6 (月)	○	上⑱					
7/7 (火)	○		上⑱				
7/8 (水)	○			上⑱			
7/9 (木)	○				上⑲		
7/10 (金)	○					上⑲	
7/11 (土)		カリキュラムテスト⑱⑲					
7/12 (日)							
7/13 (月)	○	上⑲					
7/14 (火)	○		上⑲				
7/15 (水)	○			上⑲			
7/16 (木)							
7/17 (金)							
7/18 (土)							
7/19 (日)		組分けテスト⑲					
7/20 (月)							
7/21 (火)	講	夏期講習会期間					
7/22 (水)	講						
7/23 (木)	講						
7/24 (金)	講						
7/25 (土)	講						
7/26 (日)	講						
7/27 (月)							
7/28 (火)	講						
7/29 (水)	講						
7/30 (木)	講						
7/31 (金)	講						

●講習会期間は予定です。実施日は学年・校舎により異なります。

[後期]

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
8/1 (土)	講	夏期講習会期間					
8/2 (日)	講						
8/3 (月)							
8/4 (火)							
8/5 (水)							
8/6 (木)							
8/7 (金)							
8/8 (土)							
8/9 (日)							
8/10 (月)							
8/11 (火)							
8/12 (水)							
8/13 (木)							
8/14 (金)							
8/15 (土)							
8/16 (日)	講	夏期講習会期間					
8/17 (月)	講						
8/18 (火)	講						
8/19 (水)	講						
8/20 (木)	講						
8/21 (金)	講						
8/22 (土)	講						
8/23 (日)	講						
8/24 (月)	講						
8/25 (火)	講						
8/26 (水)	講						
8/27 (木)	講						
8/28 (金)	講						
8/29 (土)		組分けテスト					
8/30 (日)							
8/31 (月)							

●講習会期間は予定です。実施日は学年・校舎により異なります。
●夏期合宿については決まり次第お伝えします。

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
9/1 (火)	○		下②				
9/2 (水)	○			下②			
9/3 (木)	○				下②		
9/4 (金)	○					下②	
9/5 (土)							
9/6 (日)							
9/7 (月)	○	下②					
9/8 (火)	○		下③				
9/9 (水)	○			下③			
9/10 (木)	○				下③		
9/11 (金)	○					下③	
9/12 (土)		カリキュラムテスト①②					
9/13 (日)							
9/14 (月)	○	下③					
9/15 (火)	○		下④				
9/16 (水)	○			下④			
9/17 (木)	○				下④		
9/18 (金)	○					下④	
9/19 (土)							
9/20 (日)		志望校判定テスト①					
9/21 (月)	○	下④					
9/22 (火)							
9/23 (水)							
9/24 (木)	○				下⑤		
9/25 (金)	○					下⑤	
9/26 (土)		カリキュラムテスト③④					
9/27 (日)							
9/28 (月)	○	下⑤					
9/29 (火)	○		下⑤				
9/30 (水)	○			下⑤			

●9月初回授業:9/1(火)・9/2(水)
※校舎によって異なります。
●小5「予習シリーズ」下巻第1回の授業は、夏期講習会中に実施します。

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
10/1 (木)	○				下⑥		
10/2 (金)	○					下⑥	
10/3 (土)							
10/4 (日)		組分けテスト⑤					
10/5 (月)	○	下⑥					
10/6 (火)	○		下⑥				
10/7 (水)	○			下⑥			
10/8 (木)	○				下⑦		
10/9 (金)	○					下⑦	
10/10 (土)							
10/11 (日)							
10/12 (月)	○	下⑦					
10/13 (火)	○		下⑦				
10/14 (水)	○			下⑦			
10/15 (木)	○				下⑧		
10/16 (金)	○					下⑧	
10/17 (土)		カリキュラムテスト⑥⑦					
10/18 (日)							
10/19 (月)	○	下⑧					
10/20 (火)	○		下⑧				
10/21 (水)	○			下⑧			
10/22 (木)	○				下⑨		
10/23 (金)	○					下⑨	
10/24 (土)							
10/25 (日)							
10/26 (月)	○	下⑨					
10/27 (火)	○		下⑨				
10/28 (水)	○			下⑨			
10/29 (木)	○				下⑪		
10/30 (金)	○					下⑪	
10/31 (土)		カリキュラムテスト⑧⑨					

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
11/1 (日)							
11/2 (月)							
11/3 (火)		全国統一小学生テスト					
11/4 (水)	○			下⑪			
11/5 (木)							
11/6 (金)							
11/7 (土)		レベルアップ授業					
11/8 (日)		組分けテスト⑩					
11/9 (月)	○	下⑪					
11/10 (火)	○		下⑪				
11/11 (水)	○			下⑫			
11/12 (木)	○				下⑫		
11/13 (金)	○					下⑫	
11/14 (土)							
11/15 (日)							
11/16 (月)	○	下⑫					
11/17 (火)	○		下⑫				
11/18 (水)	○			下⑬			
11/19 (木)	○				下⑬		
11/20 (金)	○					下⑬	
11/21 (土)		カリキュラムテスト⑪⑫					
11/22 (日)							
11/23 (月)	○	下⑬					
11/24 (火)	○		下⑬				
11/25 (水)	○			下⑭			
11/26 (木)	○				下⑭		
11/27 (金)	○					下⑭	
11/28 (土)							
11/29 (日)							
11/30 (月)	○	下⑭					

●レベルアップ授業は組分けテストの対策補講です。

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
12/1 (火)	○		下⑭				
12/2 (水)	○			下⑮			
12/3 (木)	○				下⑮		
12/4 (金)	○					下⑮	
12/5 (土)		カリキュラムテスト⑬⑭					
12/6 (日)							
12/7 (月)	○	下⑮					
12/8 (火)	○		下⑮				
12/9 (水)	○			下⑯			
12/10 (木)	○				下⑯		
12/11 (金)	○					下⑯	
12/12 (土)							
12/13 (日)		組分けテスト⑮					
12/14 (月)	○	下⑯					
12/15 (火)	○		下⑯				
12/16 (水)	○			下⑰			
12/17 (木)	○				下⑰		
12/18 (金)	○					下⑰	
12/19 (土)							
12/20 (日)							
12/21 (月)	○	下⑰					
12/22 (火)	○		下⑰				
12/23 (水)							
12/24 (木)							
12/25 (金)							
12/26 (土)	講	冬期講習会期間					
12/27 (日)	講						
12/28 (月)	講						
12/29 (火)	講						
12/30 (水)	正						
12/31 (木)	正						

●講習会期間は予定です。実施日は学年・校舎により異なります。
●正月特訓期間は予定です。実施日は学年により異なります。

2027	授業 実施	月	火	水	木	金	土
1/1 (金)	正						
1/2 (土)	正						
1/3 (日)	正						
1/4 (月)	講	冬期講習会期間					
1/5 (火)	講						
1/6 (水)	講						
1/7 (木)	講						
1/8 (金)							
1/9 (土)							
1/10 (日)							
1/11 (月)	○	志望校判定テスト②/下⑮					
1/12 (火)	○		下⑮				
1/13 (水)	○			下⑮			
1/14 (木)	○				下⑮		
1/15 (金)	○					下⑮	
1/16 (土)		カリキュラムテスト⑯⑰⑱					
1/17 (日)							
1/18 (月)	○	下⑯					
1/19 (火)	○		下⑯				
1/20 (水)	○			下⑯			
1/21 (木)	○				下⑯		
1/22 (金)	○					下⑯	
1/23 (土)							
1/24 (日)		組分けテスト⑲					
1/25 (月)	○	小6上①					
1/26 (火)	○		小6上①				
1/27 (水)	○			小6上①			
1/28 (木)	○				小6上①		
1/29 (金)	○					小6上①	
1/30 (土)							
1/31 (日)							

●講習会期間は予定です。実施日は学年・校舎により異なります。
●1月初回授業:1/11(月) 小5最終授業:1/28(木)・1/29(金)
※校舎によって異なります。
●1/25(月)以降は小6「予習シリーズ」上巻第1回を扱います。

